



第1回 せとうち魅力発見会議

せとうち 魅力発見 

2023年2月3日

本州四国連絡高速道路株式会社



Bridge : Communication & Technology

 **本四高速**

第1回せとうち魅力発見会議

【開催経緯】

これまで各ルート(神戸・淡路・鳴門等、瀬戸大橋、しまなみ海道)別に開催していた周遊観光ワークショップを、瀬戸内地域における更なる広域周遊の活性化に向けて、瀬戸内全体を睨んだ地域活性化等について議論する「せとうち魅力発見会議」として開催する。

【議事次第】

■日 時: 2023年2月3日(金) 14:00~17:00

■場 所: ANAクラウンプラザホテル神戸 10F「ザ・ボールルーム」

■議事次第:

1. 開会・主催者挨拶

・本州四国連絡高速道路株式会社 代表取締役社長 後藤 政郎

2. コーディネーター挨拶

・地球の歩き方総合研究所 事務局長 弓削 貴久氏

3. 議題

【第1部】 ルート別・合同ワークショップ

〈司会〉

・神戸淡路鳴門地域等	: 地球の歩き方総合研究所	研究員	千葉 深香氏
・瀬戸大橋地域	: 観光ビジネス総研株式会社	代表取締役	刀根 浩志氏
・しまなみ海道地域	: TheHidden Japan 合同会社	代表	山科 沙織氏

【第2部】 せとうち観光の現状について

~せとうちに足りないもの(コア・主体・発信)について~

4. 閉会

目 次

【第1部】

- 1. インフラツアーの更なる推進..... 4
- 2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進..... 19
- 3. 島旅の活性化..... 26
- 4. サイクリングによる地域発信..... 54
- 5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展..... 65

【第2部】

- せとうち観光の現状について..... 74
- ～せとうちに足りないもの(コア・主体・発信)について～

【第1部】

1. インフラツアーの更なる推進

「瀬戸内企業」として、さらに「インフラ経営」の観点から、世界に誇る長大橋群を活用し、地域への集客を促進する。

(1) 企画提案型インフラツアー

- 目的 当社においては、長大橋梁群を活用したインフラツアーを積極的に展開し、瀬戸内地域の魅力発信や地域活性化の取組を進めているが、インフラツアーの更なる魅力向上や認知度向上を目的としてツアー企画を募集するもの
- 採用基準
 - ① ツアー企画に新規性又は独自性があるもの
 - ② 情報発信に特色があるもの
 - ③ 当社の地域連携事業との関連性が高いもの
- 催行期間 令和4年10月及び11月
- 応募及び審査等
 - ・ 募集開始：令和4年6月24日
 - ・ 募集状況：12事業者から応募があり、6事業者7ツアーを実施
- 実施結果等 お客様のアンケート結果は全体として100%に近い数字で満足との回答を得た。しかし、個々のツアーにおいては、行程に間延びした感があった、やや強行軍の日程であった、船の移動時間がもったいないなどのご意見もいただいております。令和5年度においては、今回実施したツアーのブラッシュアップを図りツアー造成に取り組む。

1. インフラツアーの更なる推進

<実施した企画提案型インフラツアー一覧>

番号	実施事業者	ルート	実施橋梁	概要等	実施日
①	(一社)淡路島観光協会	A	明石海峡大橋	<ul style="list-style-type: none"> ・普段立ち入ることのできない、県指定名勝”絵島”への特別上陸体験 ・淡路島観光協会HPに直接予約ページを立ち上げ、明石海峡大橋塔頂動画(ドローン)映像なども活用し広く情報発信し販売促進していく。(協会HP 年間200万PV) ・岩屋～クルージング～昼食(生しらす丼)～明石海峡大橋塔頂体験(終了後岩屋まで送迎し解散) 	10月2日(日) 10月23日(日) 11月6日(日)
②	(株)エアトラベル徳島		大鳴門橋	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ施設の基盤となる長大橋などインフラ施設の役割や必要性についてより多くの皆様にご理解していただけるようインフラ施設の第一人者である千葉工業大学八馬智教授が同行するツアー。エディで講話を行う。 ・チリメンモンスターイベントの開催で瀬戸内海の地域資源に関心を持っていただく。 ・三宮又は徳島各地～渦の道見学・大鳴門橋管理路ウォーク・大鳴門橋架橋記念館エディ ※神戸発・徳島発の2つの出発地 	11月6日(日)
③	高松市美術館友の会		大鳴門橋	<ul style="list-style-type: none"> ・JB本四高速が取り組む『「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展』との関連性が高い。 ・高松市美術館・大鳴門橋管理路ウォーク・大塚国際美術館等 	11月20日(日)
④	(株)志々島ダイナミクス	D	瀬戸大橋	<ul style="list-style-type: none"> ・JB本四高速が取り組む『「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展』との関連性が高い。 ・高松市美術館・瀬戸大橋塔頂体験・香川県立東山魁夷せとうち美術館 	11月23日(水)
⑤	香川県立坂出商業高等学校		瀬戸大橋	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、与島に寄港する島間のツアーがないことから、JB本四高速が取り組む「島旅の活性化」の考えに合致する。 ・宮の下～与島(瀬戸大橋塔頂体験)～志々島のクルーズ&ランチ 	11月5日(土)
⑥	(株)わかか	E	来島海峡大橋	<ul style="list-style-type: none"> ・「橋」に強い焦点を当ててサイクリングも絡むセミラグジュアリーツアー。橋のプロから事前座学を受講(事前座学は11/10,11/17) ・今後橋ファンを増やしていくためのデジタルマーケティングの小さな仕掛けを行う。 ・瀬戸田(サイクリング)～WAKKA(大三島・昼食)～橋の説明をしながらクルージング(多々羅大橋、大三島橋、伯方・大島大橋)～馬島(来島海峡大橋塔頂体験)～馬島BS解散 	11月12日(土) 11月19日(土)

1. インフラツアーの更なる推進

①一般社団法人 淡路島観光協会

<ツアーの特色>

- ・普段立ち入ることのできない、県指定名勝”絵島”への特別上陸体験
- ・年間約200万PVの淡路島観光協会のHPのアクセス数の強みを活かし、当協会HP上においてツアー募集を行うとともに明石海峡大橋塔頂動画(ドローン映像)を活用したPRを実施

■実施日 ① 令和4年10月2日(日) ② 令和4年10月23日(日) ③ 令和4年11月6日(日) 計3回

■行程 岩屋ポートターミナル(集合)～ 絵島(名勝・特別上陸)～ 咸臨丸クルージング～ 道の駅あわじ(昼食・生しらす丼賞味)～ 明石海峡大橋塔頂体験～ 道の駅あわじ(解散)

■実施状況 参加人数 ①10月2日: 34名 ②10月23日: 35名 ③11月6日: 35名 計104名

■ツアー料金 大人(高校生以上): 6,000円/名 中学生以上: 5,000円/名

■アンケート集計(回答者: 計103名)

○アンケート 主なご意見等

- ・普段は入れない絵島や明石海峡大橋塔頂ツアーがあり大変面白かった。
- ・日本の技術に感動した。
- ・高さ300mというなかなか見れないところからの景色を見ることができ非常に貴重な体験となった。
- ・値段が安く普段できない貴重な体験ができてよかった。半日やもう少し時間の短いツアーもあると良い。
- ・全体的に少し間延びした感じがあった。ガイドさんの説明をもっとノリ良くするとか、ツアー参加者が一緒に何かをできるとか工夫があってもよいのでは。
- ・毎月定期的にあれば良い。

■今後に向けての展開(実施事業者の意向)

- ・参加者からツアー時間が長いとの意見があったため、来年の兵庫DCまでに昼食をはさまない時間を短縮したコースの検討や参加者に一番人気のある塔頂ツアーを軸に、クルーズや島グルメ等周辺の魅力あるコンテンツを組み合わせ、4月～11月を通じて季節感のある商品化を目指したい。



ドローン映像(YouTube掲載)



絵島特別上陸



咸臨丸クルージング



明石海峡大橋塔頂ツアー(移動風景)



明石海峡塔頂体験ツアー(4A内説明)

1. インフラツアーの更なる推進

②株式会社 エアトラベル徳島

<ツアー特色>

- ・インフラ施設の有識者(千葉工業大学創造工学部デザイン学科八馬教授)が同行し、インフラ施設の魅力、楽しみ方をわかりやすく講話
- ・地域資源に関心を持っていただける体験イベント(チリメンモンスターイベント)の実施

■実施日 令和4年11月6日(日) 神戸発・徳島発

■行程 徳島発の場合 徳島駅前～渦の道・大鳴門橋管理路ウォーク～道の駅うずしお～八馬教授による講話・大鳴門橋架橋記念館エディ見学・チリメンモンスターワークショップ～昼食～松茂～徳島駅(解散)

■実施状況

参加人数 ・神戸発 17名 ・徳島発 38名 計55名

■ツアー料金 神戸発 14,500円/名 徳島発 12,000円/名

■アンケート集計(回答者:計55名)

○アンケート 主なご意見等

- ・自転車道が出来るのが楽しみ
- ・メニューは豊富で退屈しなかった。いい企画でした。
- ・レアな実体験により、理屈もわかり世界観まで変わる。八馬教授の言葉に私の思い出の全てがでていました。
- ・チリメンモンスターは子ども向きかも
- ・昼食に暖かい汁物があれば良かった。

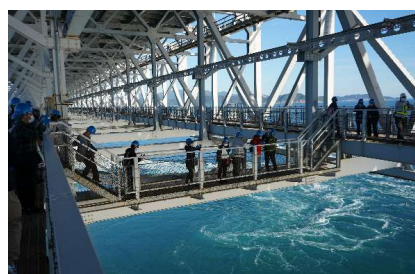
■今後に向けての展開(事業者の意向)

・当初親子連れをターゲットに企画、参加を期待したが、結果的に思いのほか高齢者の参加が多かった。今後夏休み期間中の集客も考え催行したい。

■その他 当日は徳島新聞の記者が同行。11月8日の徳島新聞朝刊に「管理路から渦満喫 大鳴門橋でツアー」の見出しで掲載されるとともに、「日常では見られない景色を楽しめ、大変な苦労をしながら橋がメンテナンスされていることに、改めて感謝の気持ちが生まれた。」との参加者の感想が紹介された。



「渦の道」前での大鳴門橋の説明



大鳴門橋管理路ウォーク



千葉工業大学教授によるインフラ施設の魅力、楽しみ方の講話



チリメンモンスター

チラシ
【徳島発】

1. インフラツアーの更なる推進

③高松市美術館友の会〔大鳴門橋〕(ツアー実施事業者:名鉄観光サービス(株))

<ツアーの特色>

- ・世界に誇る長大橋(大鳴門橋)の魅力と美術鑑賞を楽しめる。
- ・今まで美術館とインフラツアーを絡めたツアーがなかったことから、話題性が高い。

■実施日 令和4年11月20日(日)

■行程 JR高松駅/高松市美術館(集合)～道の駅うずしお～ **大鳴門橋ツアー**～アオアリゾート(昼食)～大塚国際美術館～JA大津松茂えがお～JR高松駅/高松市美術館(解散)

■実施状況 参加人数 19名

■ツアー料金 大人:11,000円/名(会員以外の方:12,000円/名)

■アンケート集計(回答者:計19名)

○アンケート 主なご意見等

- ・ワクワクして楽しい時間でした。(橋・美術館ともに)
- ・美術館だけでなく、体験ツアーがすごくよかったです！楽しめました。ありがとうございました。
- ・時間的にもよかったです。塔頂ツアーはよい体験でした。
- ・できれば、ほかの博物館・美術館が通常休みである月曜に開催していただきたいです。(休館日に貸切でみれるようにするなど)
- ・今回の食事もとてもおいしかったですし、時間もありませんでした。やはりツアーの食事は、よりクオリティの高いもの。
- ・日帰りの場合出発時間・到着時間等ゆったりした予定でよかったです。

■今後に向けての展開(実施事業者の意向)

- ・大鳴門橋ツアーに関しては、参加者のほぼ全員が内容に満足していた。
- 美術館については、知名度も高く観光地化している施設のためか、美術館を目的に旅行参加する層へは魅力に欠けていた面もある。
- ツアーと組み合わせる美術館によっては、継続的な集客が見込める可能性がある。

アオアリゾート(昼食)



大鳴門橋ツアー(説明)



大鳴門橋ツアー(管理道)



大鳴門橋ツアー(渦潮鑑賞)



大塚国際美術館

1. インフラツアーの更なる推進

③高松市美術館友の会〔瀬戸大橋〕(ツアー実施事業者:名鉄観光サービス(株))

<ツアーの特色>

- ・世界に誇る長大橋(瀬戸大橋)の魅力と美術鑑賞を楽しめる。
- ・今まで美術館とインフラツアーを絡めたツアーがなかったことから、話題性が高い。

■実施日 令和4年11月23日(水・祝)

■行程 JR高松駅/高松市美術館(集合)~与島PA…瀬戸大橋塔頂体験ツアー~

オークラホテル丸亀(昼食)~香川県立東山魁夷せとうち美術館~JR高松駅/高松市美術館(解散)

■実施状況 参加人数 11名

■ツアー料金 大人:9,800円/名(会員以外の方:10,800円)

■アンケート集計(回答者:計11名)

○アンケート 主なご意見等

- ・今回初めて参加させていただきましたが想像以上の内容でとても満足しました。ありがとうございました。
- ・時間がゆったりめでよかったです。
- ・ランチにコーヒーがついていればありがたかったです…。ツアーに関してはとてもよかったです。ありがとうございました。
- ・塔頂体験最高でした。ガイドさんがよく説明して頂きました。昼食美味しかったです!
- ・初体験が出来て感激でした。本四高速の皆様の安全管理に感謝です。食事も豪華でした。美味しかった。

■今後に向けての展開(実施事業者の意向)

- ・瀬戸大橋塔頂ツアーに関しては、参加者のほぼ全員が内容に満足していた。
- ・天候に関しては、ツアー実施を歓迎する声が多く、苦情はゼロであった。
- ・美術館に関しては、小規模館で人によっては時間を持て余したり、周囲の散策が雨天でできなかった等、ややマイナス要素が多かった。
- ・ツアーと組み合わせる美術館によっては、継続的な集客が見込める可能性がある。

瀬戸大橋塔頂ツアー
(トレインビュー)



広報チラシ



瀬戸大橋塔頂ツアー(説明)



瀬戸大橋塔頂ツアー(塔頂)



オークラホテル丸亀(昼食)



香川県立東山魁夷せとうち美術館

1. インフラツアーの更なる推進

④株式会社 志々島ダイナミクス(ツアー実施事業者:(株)穴吹トラベル)



<ツアーの特色>

- ・通常立ち入ることのできない海面175mの瀬戸大橋塔頂体験
- ・与島に寄港する島間のツアーであり、「島旅の活性化」にも繋がる。

■実施日 令和4年11月5日(土)

■行程 詫間 宮の下港(集合)～貸切海上タクシー～志々島港…志々島(島民ガイド・樹齢1200年の大楠)～キッチンくすくす(昼食・志々島ごちそうランチ)…志々島港発～貸切海上タクシー～与島…瀬戸大橋スカイツアー～貸切海上タクシー～詫間 宮の下港(解散)

■実施状況 参加人数 12名

■ツアー料金 大人:16,990円/名

■アンケート集計(回答者:計12名)

○アンケート 主なご意見等

- ・塔頂体験はとてもスリリングでおもしろかった。
- ・いろいろグッズも用意していただき、安心して参加できました。
- ・イヤホンで話もよくわかった。
- ・志々島でいただいたお昼ごはんもとてもおいしかった。
- ・楠木も迫力があり、見に来たかいがあった。
- ・初めての塔頂で良かったです。
- ・船の移動の時間がもったいない。
- ・足の悪い人にはコース的に難しいかな。
- ・立ち入ることができないところへ入ることができ、大変満足です。

■今後に向けての展開(実施事業者の意向)

・志々島等の島々とインフラツアーを組み合わせるツアーは集客力があるため、継続したい。



島民ガイド



瀬戸大橋



海上貸切タクシー



志々島ごちそうランチ



瀬戸大橋スカイツアー(説明)



瀬戸大橋スカイツアー(塔頂)

1. インフラツアーの更なる推進

⑤香川県立坂出商業高等学校(ツアー実施事業者:(一社)坂出市観光協会)

<ツアーの特色>

- ・一般車は立ち入ることができない坂出3島の魅力や良さを 坂商生が案内
- ・櫃石島、岩黒島、与島の三島を坂出市に所在する高校の生徒が案内するため話題性がある。
- ・島旅の活性化で取り組む本島、志々島、栗島を含めたツアー造成に繋がる可能性がある。

■実施日 令和4年11月5日(土)

■行程 坂出駅(集合)～与島(浦城集落・鍋島灯台・二宮金次郎像)～与島PA(瀬戸大橋塔頂ツアー)
 …与島プラザ(昼食)…与島～櫃石島(トレインビュー・花見台・王子神社・歩渡島)～
 岩黒島～与島PA～坂出駅(解散)

■実施状況 参加人数 14名

■ツアー料金 大人:9,999円/名(小人同額)

■アンケート集計(回答者:計14名)

○アンケート 主なご意見等

- ・坂出商業の生徒さんが一生懸命ガイドしてくれていたのがよかった。
- ・与島の島内もめぐることができ、瀬戸大橋塔頂ツアーも良かった。
- ・高校生の若いフレッシュな感性がみずみずしく楽しい一日でした。
- ・普段なんとなくキレイだなあと運転している瀬戸大橋走行時に、ガイド頂けた点に関しまして新鮮な気持ちで聞かせて頂きました。
- ・学生さんのガイドと一緒に周れて楽しかった。
- ・坂出三島とインフラツアーを組み合わせるやや強行軍のツアー日程だが、かけはしで三島をめぐるので仕方ない。

■今後に向けての展開(実施事業者の意向)

- ・ガイドとして参加された坂商生からは、「楽しかった。また、やりたい」という声が聞かれた。課題としては、全ての島を回ることが高齢者にとって負担にならないか、といった点が挙げられる。今後は、線と線が繋がり、面となるようなツアーを作っていきたい。

櫃石島



トレインビュー



広報チラシ



坂商生による説明



瀬戸大橋塔頂ツアー(説明)



瀬戸大橋塔頂ツアー



王子神社

1. インフラツアアの更なる推進

⑥株式会社 わっか

<ツアー特色>

- ・橋のプロからの事前座学(ウェビナー)
- ・SNSを活用した情報発信による橋ファン&来島海峡大橋認知度向上の取り組み実施

■実施日 ① 令和4年11月12日(土) ② 令和4年11月19日(土) 計2回

※事前座学は①11月10日(木) ②11月17日(木)

■行程 瀬戸田港(集合)～サイクリング(e-bike・約10km)～ WAKKA CAFE(昼食)～
クルージング(多々羅大橋、大三島橋、伯方・大島大橋海上見学⇒馬島上陸)～
来島海峡大橋塔頂体験～馬島BS(解散)

■実施状況

参加人数 ①11月12日:3名 ②11月19日:3名 計6名

■ツアー料金 24,000円/名 ※全国旅行支援適用:19,000円/名

■アンケート集計(回答者:計6名)

○アンケート 主なご意見等

- ・(ウェビナー含め)盛りだくさんのイベントで大変満足
- ・色々なアクティビティがあり、とても楽しかった。橋の話聞いてよかった。
- ・サイクリング、クルージング、塔頂体験、どれも日常では味わえないものばかりで、とてもリフレッシュな休日になった。
島出身の身からすると、こういう島のことを深く知ることができるのが体験できて、また参加してみたいと思った。
- ・夜の橋の登れる機会があると嬉しい。

■今後に向けての展開(事業者の意向)

- ・今回のツアーで得た映像などを利用し、次回はもっと裾野を拡げて販売することにより参加者を増やすことができる。今回は塔頂部分が無料であったため価格アドバンテージがかなり高く、有料の場合実際の商品化には、年1回の催行にするなどプレミア感を上げて募集する必要がある。(参加人数に応じた塔頂料金だとよい。)



事前座学(ウェビナー)実施風景



e-bikeサイクリング



クルージング



来島海峡大橋塔頂体験(塔頂)

1. インフラツアーの更なる推進

(2) 明石海峡大橋ナイトツアー

■概要

- ・日没に合わせ、アンカレイジから、管理路を車両で移動し、主塔において塔頂を行う。
- ・参加者人数:最大12名/回
- ・案内料金 :120,000円/回

■ナイトツアーコース図



※R4年度は神戸側主塔のエレベーター更新工事のため淡路島側の主塔で実施
 ※旅程に応じて淡路島側アンカレイジ集合とすることも可

①旅行会社ツアーの催行状況

- ・(公社)ひょうご観光本部との連携により、プレ兵庫DC(7月~9月)に関するツアーとして1回、その他として2回(10月・11月)計3回、神姫バスツアーズが「いまだかつてないバス旅」をコンセプトに作った新型専用バス「ゆいPRIMA(ゆいプリマ)」を利用する1泊2日のラグジュアリーなツアーとして県外を対象に募集



淡路島側主塔からの夜景



管理路移動車両(2台)



主塔塔頂の様子

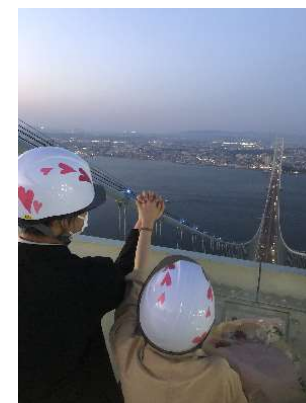
1. インフラツアーの更なる推進

◇お客様アンケートより◇

- ・このような素晴らしい体験ツアーをもっとたくさんの人に体験してもらいたい。
- ・たぶん東京や海外の人が知れば必ず体験したいと言われると思う。
- ・来年は神戸側の主塔からの夜景を楽しみたいので実施お願いいたします。
- ・とても貴重な体験をさせて頂きました。
- ・説明がわかりやすく、いろいろな情報を知ることができました。
- ・よい記念になりました。ありがとうございました。
- ・高額と思いますが、安全の為の人員数を考えるとこんなのかと思います。
- ・大勢の方で安全にとっても気をつかわれているのがわかり安心でした。

②プロポーズプランのモニタリング状況

- ・ブライダル事業者と連携し、モニタリング3回を企画。荒天のため2回は中止となり1回の実施



○ナイトツアーの今後の予定

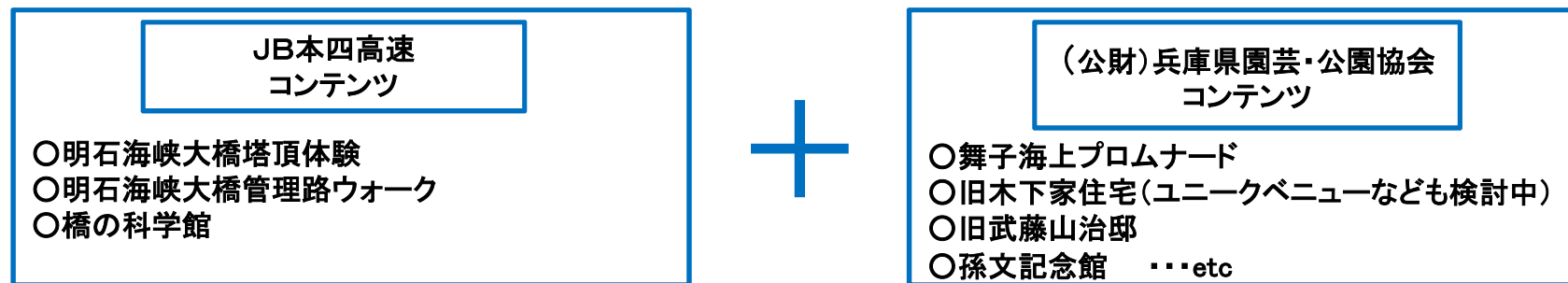
- ・令和5年度からは本格的な運用を行う。(4月から11月までの各月1回(土、日、祝日)を予定(プロポーズプランを含む。))

1. インフラツアーの更なる推進

(3)大阪・関西万博に向けた取組み

大阪・関西万博に向けて明石海峡大橋をはじめとした本四架橋のインフラツアーの聖地として、魅力ある施設・体験が満載する舞子公園一体となったイベント等を実施し、地域の魅力を発信する。

令和4年7月、県立舞子公園等を管理運営する(公財)兵庫県園芸・公園協会と「舞子公園・明石海峡大橋等活性化検討会」を設置。明石海峡大橋の各種インフラツアーと舞子公園等との連携を更に促進し、多数の観光客の誘致や知名度の向上に取り組んでいる。



<令和4年度の取組み>

○早朝の明石海峡大橋塔頂ツアー + あわじグリーン館を組み合わせたツアーの試行実施

<ツアーの特色>

- ・公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会 × 本四高速の連携ツアー (実施事業者: (株)JTB 神戸支店)
- ・あわじグリーン館 夜間貸切ツアー【夜の植物園ガイドツアー・イルミネーション鑑賞】
- ・明石海峡大橋 早朝特別塔頂体験【塔頂での日の出鑑賞】

■実施日 2022年11月18日(金) 5:30 ~ 7:15 ※日の出時間: 6:35頃

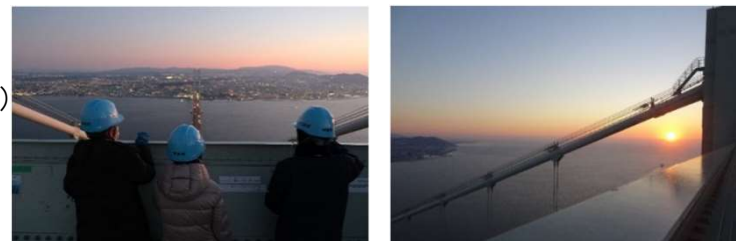
※JTB主催の1泊2日のツアー内にて実施 (塔頂体験: 2日目早朝に実施)

■ツアー料金 1名1室: 59,800円/名 2名1室: 49,800円/名 3名1室: 48,600円/名 (1泊2日)

■参加者 ご家族1組(3名)、お一人での参加(1名) 計4名

■アンケート結果

- ・特別感を感じた。
- ・天候にも恵まれ、日の出もきれいに見られて、本当に満足



1. インフラツアーの更なる推進

(4) 多々羅大橋塔頂ツアー+SEA SPICA(瀬戸内の島々をクルーズ船で回遊)ツアー

令和3年6月のFAMトリップでの意見を踏まえた新たなツアーとして企画(瀬戸内海汽船(株)との共同企画商品)

○令和3年6月のFAMトリップでの意見

- ・個人向けツアーである場合は、定期性定時的が必要となるため、都度クルーズ船をチャーターすると手配上もコスト上も負荷がかかる。
- ・「せとうち島たびクルーズ」などの既存の観光船を有効活用した組み込み型ツアーの提案により、「しまなみ海道」「瀬戸内の島々」を塔頂の魅力にプラスアルファできるような見せ方と内容とすることが実効性も高く、有効であるとする。

■実施日 ① 令和4年10月17日(月) ② 令和4年11月14日(月) 計2回

■行程 広島港(シースピカ)～プリンスホテル棧橋～呉港～海上自衛隊呉基地艦船クルーズ～下蒲刈島・松濤園～大久野島～瀬戸田港～**多々羅大橋塔頂体験**～しまなみ海道・山陽道(バス移動)～広島駅・広島港

■実施状況

参加人数 ①10月17日: 11名 ②11月14日: 8名 計19名

■ツアー料金 17,000円/名

■アンケート集計(回答者:計19名)

- ・とても満足18名、やや満足1名

○アンケート 主なご意見等

- ・十分に楽しかった。他の橋も登りたい。
- ・広島、呉以外の知名度が低い。
- ・来島大橋の企画したら案内して欲しいです。明石大橋のツアーがあると聞いたので是非参加したいです。
- ・貴重な体験をさせていただきありがとうございます。時間が限られているのでお昼ごはんの後とか、行く時間が足りなかったのがとても残念でした。でも、とても楽しかったです。



○今後の予定

今回の催行は月曜日発ということと全国旅行支援の延長時期が間際まで決まらず集客の苦労があったため、次回は金・土発のツアーの企画を提案するとともに、インフラツアーに限らずSA・PAとのイベントでのシースピカ貸切りチャーターや万博にむけて瀬戸内クルーズも提案したい。



1. インフラツアーの更なる推進

(5) 来島海峡大橋塔頂での「ウエディングフォト婚」

観光庁が支援する「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板の創出事業」として、新たな地域消費を生むための仕組みとして、当社など地域の企業が連携し、観光業と冠婚葬祭業をマッチングさせ、しまなみ海道の豊かな自然の中でツアー・イベントとセレモニーとを融合した新たなコンテンツを創出する「今治市アニバーサリークルーズコンテンツ開発事業」のコンテンツの一つとしてウエディングフォト婚をモデルツアーとして実施。当該事業の各コンテンツは、モデルツアーの実施・検証等を行い販売を行う予定

- ・事業名 今治市しまなみアニバーサリークルーズコンテンツ開発事業
- ・実施主体 (株)しまなみ
- ・連携事業者 (株)JTB松山支店、(株)ベルモニー、日本航空(株)、タオル美術館、(一社)しまなみジャパン、JB本四高速

- 実施日: 令和4年10月22日(土)
- 参加者: カップル2人(東京在住、10月8日挙式)
カメラマン、メイク等他5名
今治市秘書広報課1名

時間	行程	内容
9:00	ホテル(宿泊)	
9:10	今治港	
9:20	今治港(発) 貸切船	① <ブリッジマリッジクルーズ> (フォト婚クルーズ)
9:40	馬島港(着) 来島海峡大橋8P塔頂	
11:10	馬島港(発)	②
11:30	下田水港(着)	
13:10	下田水港(発) 貸切船	③
13:40	小島港(着)	
14:40	小島港(発)	④
15:00	下田水港(着)	
17:40	松山空港	・休憩等



出典: 国土地理院

1. インフラツアーの更なる推進

◇参加者アンケートより◇

- ・想像以上のロケーションに驚きました。
- ・素晴らしい背景と共に写真を残すことができ、すてきな思い出になりました。
- ・塔頂までの道も行きやすく、移動しやすかったです。ドレスはスレンダーや持ち上げやすいものが良さそうです。
- ・とても丁寧なアテンドで不安は全くありませんでした。(不安があるかないかは大きなポイントかと思います。)
- ・高さの苦手な人には事前にしっかりお伝えするとベストだと思います。
- ・メイクアップは衣装はホテルなどで事前にしていく方が良いと思います。
- ・観光商品だと思いますが、地元のカップルにも反響がありそうだと思います。
- ・花嫁のヘアセットがヘルメットでくずれの可能性があるのかなと思いました。
- ・エレベータから塔頂までの階段がせまいので年配の方は参加できない可能性もありそうです。
- ・全体にすばらしく、ここにしかない体験だと思います。



馬島上陸



8P塔頂



8P塔頂



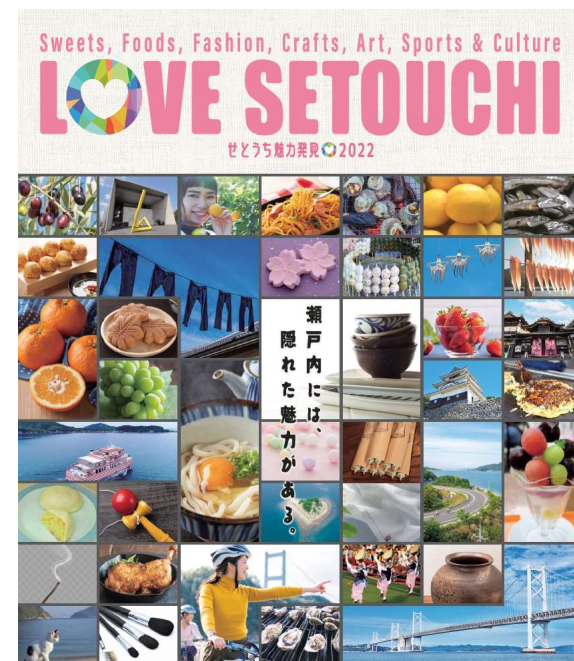
8P基部

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点としてサービスエリア・パーキングエリア(SA・PA)を最大限活用することで、瀬戸内地域への来訪に繋げる。

地域の食や特産品などをテーマにしたイベントを四季を通じてSA・PAで開催し、より多くの方々に瀬戸内の魅力に触れていただく「せとうち魅力発見」キャンペーンを展開

月	イベント名称	開催場所・実施形態
4月	オープニングイベント(4/2) スイーツイベント(4/2~5/8)	全SA・PA同時開催。地域の飲食店も参加。スタンプラリー形式
5月	島旅フェス2022(5/14・15)	与島PA
7月	麺イベント(7/1~31)	全SA・PA同時開催。地域の飲食店も参加。スタンプラリー形式
9月	バスイベント(9/19)※荒天のため中止	鴻ノ池SA
	焼きものイベント(9/17~19) ※19日は荒天のため中止	淡路SA・与島PA・来島海峡SA
10月	マルシェ(10/8~10) ※10日の与島は荒天のため中止	淡路SA・与島PA・来島海峡SA
11月	井イベント(11/1~30)	全SA・PA同時開催。地域の飲食店も参加。スタンプラリー形式
	バイクイベント(11/12・13) ※13日は荒天のため中止	与島PA(第二駐車場)
3月	スイーツイベント(3月上旬~4月下旬)	全SA・PA同時開催。地域の飲食店も参加。スタンプラリー形式



2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

(1) 実施概要

① “食”をテーマに四季を通じて瀬戸内の魅力発信

地域店舗によるSA・PAでの販売や地域店舗を巡るスタンプラリーの開催に加え、地域のイベントとの連携により、“食”をテーマに魅力を発信

SA・PA店舗対決イベントも実施

SA・PA店舗による地元の食材や地域の特色を活かしたメニューによる対決イベントも実施



春～スイーツ～



夏～麺～



秋～丼～



28cmロングエクレー
淡路SA(上り)



ピリ辛海賊つけ麺
大浜PA(上り)



みかんのエスプーマ
来島海峡SA



与島DE元気!!
オリーブ豚旨辛うどん
与島PA



スイーツフェア
来島海峡SA



麺フェスタ(麺打ち体験)
与島PA



せとうち麺ラリー
114店舗



地域イベントとの連携
「ナポリンピックinさかいで」

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

② SA・PAで地域の特産品の販売や観光PRを実施

瀬戸内各地の窯元(丹波焼、備前焼、砥部焼)による焼きものの販売や、地域の商工会議所や観光協会、行政等がSA・PAで地域の特産品の販売や観光PRを実施



9月 焼きもの市



10月 マルシェ



上段: 焼きもの市 / 下段: マルシェ

淡路SA

与島PA

来島海峡SA

砥部焼

③ 広域的な交流拠点としてSA・PAを最大限活用

瀬戸内が、中国・四国地方を結び、近畿や九州も含めた西日本の中心に位置する地域的特性を活かし、広域的な交流拠点としても、SA・PAを最大限活用



11月 バイクフェスタ
与島PA第二駐車場



9月 バスマつり
(鴻ノ池SA)※荒天中止



一本橋
タイムチャレンジ

バイクフェスタ



蛇口から
みかんジュース
約630杯販売

マルシェ

鮎の塩焼き
約350匹販売

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

(2) プロモーション強化に向けた取組・結果

SA・PAでのポスター掲示・チラシ配架のほか、キャンペーンサイトやInstagramの立ち上げ、インフルエンサーによる投稿やYahoo等のWEB広告、試行的に新聞折込チラシ等を実施。



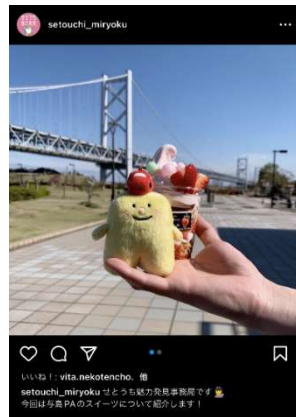
SA・PAでのPR/大型ポスター



SA・PAでのPR/のぼり



SA・PAでのPR/垂れ幕



Instagram



焼きもの専用サイト/焼きもの市



瀬戸マール



WEB広告/マルシェ等



「せとうち魅力発見」キャンペーンサイト



井店約200店舗を掲載した折込チラシ

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

メディア露出

イベントの認知度が低いことや秋季に台風等による防災関連ニュースへの振替があったことなどにより、必ずしもメディアへの露出は十分ではなかったものの、一定のPR効果はあったものと思料。

スイーツフェア

3月31日 FMえひめ
4月 2日 KSB WEB (57s)
4月 2日 あいテレビ (約1m)
4月 5日 KBN WEB (4m13s)
4月 6日 愛媛新聞社 など

島旅フェス

5月10日 FM香川
5月13日 産経新聞社
5月13日 日本海事新聞
5月14日 KSB WEB (1m10s)
5月14日 朝日新聞
5月15日 四国新聞 など

マルシェ

10月 4日 尾道新聞
10月 4日 まるごと・中讃つーしん
10月 8日 NHK松山 WEB (1m32s)
10月 9日 四国新聞

麺フェスタ

6月27日 NHK(香川) (1m30s)
6月30日 朝日新聞
「瀬戸内のご当地麺を食べ歩こう
本四高速が7月から麺フェスタ」(DIGITAL)
「せとうち麺フェス」食べて集めて(朝刊坂出)
7月 4日 KSB WEB (51s)
7月 5日 KNB いきいきワイド (4m11s)
7月13日 FM香川
7月27日 OHK WEB (29s)
7月30日 四国新聞 など

焼きもの市

8月28日 尾道新聞
9月 7日 山陽新聞 (PR TIMES)
9月 7日 神戸経済新聞 (PR TIMES)
9月16日 尾道新聞
9月16日 FM香川 など

その他 読売新聞から取材依頼があったが
台風による防災対応により見送りとなった。

○その他

- ・ いこーよ
- ・ Walker plus
- ・ gooニュース
- ・ dmenuニュース
- ・ BIGLOBE旅行
などに情報配信。

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

(3) 成果と課題

(1) 成果

- SA・PAを拠点とした情報発信等(8か月間で約500の個人・団体と連携)
- イベント実施によるSA・PAの目的化(バイクフェスでは93%、島旅フェスでは78%のお客様がイベントを目的に来訪したとアンケートで回答。)
- 一定程度の新聞・テレビ等での露出
- 立ち寄られたお客様への魅力発見CPのインプット、再訪意欲の醸成(アンケートにご協力いただいたイベント参加者(総数763名)のうち90.5%が「また来たい」と回答)

(2) 課題

- 更なる発信力、利用者の認知度の向上
 - イベント自体の魅力向上(前期イベント結果の出店者等への聞き取り、分析・評価、次期イベントへの反映等)
 - プロモーションの強化(SA・PAでの発信力強化、関係機関のPRツールとの連携等)
- 実施方法の効率化
 - PR媒体の集約、紙媒体から電子媒体への一部移行等
 - 現地イベントの実施形態の見直しによる労力軽減(テントからキッチンカーへの移行)
 - 国、自治体、商工会議所など関係機関との更なる連携 等
- SA・PA売上高の増
 - 地域連携イベントと連携した店舗内イベントの実施等

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

(4) 2023年度「せとうち魅力発見」キャンペーン(案)

年月	イベント名称	テーマ	開催場所・実施形態
R5.4月	スイーツイベント(3月上旬～4月下旬)	地域の食	全SA・PA同時開催。地域の飲食店も参加。スタンプラリー形式
5月	島旅フェス2023(5月中旬)	島旅、インフラツアー、特産品	与島PA
7月	麺イベント(6月中旬～8月上旬)	地域の食	全SA・PA同時開催。地域の飲食店も参加。スタンプラリー形式
9月	バスイベント(9月中旬)	バス	鴻ノ池SA
	焼きものイベント(9月下旬)	焼きもの	淡路SA・与島PA・来島海峡SA
10月	マルシェ(10月下旬)	特産品	淡路SA・与島PA・来島海峡SA
11月	井イベント(11月上旬～12月下旬)	地域の食	全SA・PA同時開催。地域の飲食店も参加。スタンプラリー形式
	バイクイベント(11月中旬)	バイク	与島PA(第二駐車場)
3月	スイーツイベント(3月上旬～4月下旬)	地域の食	全SA・PA同時開催。地域の飲食店も参加。スタンプラリー形式

3. 島旅の活性化

圧倒的な多島美を有しながら、沖縄・奄美、伊豆諸島などと比較して印象が薄い瀬戸内地域の「島旅」について、特に「塩飽諸島」の目的地化を目指し、景観や歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化に取り組む。

(1) せとうち島塾の開講について

■ 目的 我が国は、少子高齢化・人口減少が進展し、様々な課題が山積している。瀬戸内地域も例外ではなく、特に島に目を向けると、高齢化や人口減少は驚くべき速さで進行し、これに伴う様々な課題も一層深刻化している。
当社は、瀬戸内の未来を考え、観光のみにこだわらない地域の活性化に向けて、さらに、人口減少等に伴う課題の解決の一助とするとともに、SDGs について考える機会の創出を目的として、塩飽諸島にある香川県丸亀市の讃岐広島にて「せとうち島塾」を開講

■ 実績

- ・第1期(社内R4年度新規採用社員) 令和4年5月16日～17日
- ・第2期(社内入社2年目社員) 令和4年10月18日～19日
- ・第3期(社外) 令和4年11月8日～9日

※第3期開講については、次ページ以降に実施内容報告

■ 今後の予定

- ・第4期(社内R5年度新規採用社員) 令和5年4月
- ・第5期以降についても、社内、社外を対象に順次実施予定

3. 島旅の活性化

せとうち島塾(第3期)実施報告

- 実施日 令和4年11月8日(火)～9日(水)
 - 実施場所 香川県丸亀市讃岐広島
広島コミュニティーセンター及び現地
 - 参加者 23名【主な参加者】
 - ・行政機関、教育機関、社団法人、交通事業者、旅行事業者など
 - 研修プログラム
- 1日目：11月8日(火)
- ①開講・社長挨拶
 - ②塩飽諸島の現状について(講師:丸亀市市民生活部長)
 - ③離島航路及び離島振興について(講師:四国運輸局長)
 - ④中国四国地域の農山漁村振興について
(講師:中国四国農政局農村振興部長)
 - ⑤実地研修 くくり毘体験及び登山道整備(島塾インストラクター)
 - ⑥島の方々との意見交換会
- 2日目：11月9日(水)
- ⑦実施研修(海ごみ調査・清掃)及び座学(海ごみ講座)
(講師:(一社)香川ガイド協会 理事)
 - ⑧振り返り・閉講



せとうち島塾 開講挨拶



離島航路及び離島振興について
(四国運輸局長)

3. 島旅の活性化

◆1日目実地研修

- ・内 容 くり畷体験及び登山道整備
- ・場 所 心経山(しんぎょうざん)付近
- ・講 師 島民インストラクターの方々

◆島の方々との意見交換会

- ・場 所 尾上邸(農泊施設)中庭



くり畷体験



登山道整備



島インストラクターから
猪の通り道を学習



意見交換会



3. 島旅の活性化

◆2日目実地研修

- ・内 容 海ごみ調査・清掃
- ・場 所 青木地区海岸
- ・講 師 (一社)香川ガイド協会理事

◆グループ討議・振り返り



海ごみ回収を終えて



海ごみ調査・清掃



グループ討議



振り返り

3. 島旅の活性化

◆せとうち島塾(第3期)「参加者アンケート結果」

プログラムの評価	1. 大変有意義であった	2. まあまあ有意義であった	3. 普通	4. あまり有意義ではなかった	5. 全く有意義ではなかった
1. 島塾全体のプログラム構成について	19	1			
2. 丸亀市講義 塩飽諸島の現状について	15	4	1		
3. 四国運輸局講義 離島航路及び離島振興について	18	2			
4. 中国四国農政局講義 中国四国地域の農山漁村振興について	18	2			
5. 現地講義 くくり罫確認・登山道整備	18	2			
6. 現地講義 海ごみ調査・清掃、海ごみ講座	19	1			
7. 今回の研修について省内、社内等に勧めたいと思いますか	勧めたい 19	どちらかと言えば勧めたい 1			

◆アンケート結果について

【主なご意見】

- ・当初は少し面倒だなと思って参加したが、普段できない体験を数多くすることができ、またいろいろな職種の方と話すことができ、貴重な機会となった。
- ・島民の方々との触れ合いの時間もあり、大変良かった。
- ・ジビエや海ごみなど、知識としては知っていても実際に体験するまでは、自分事として考えられなかったことが多くあった。座学と体験の両方からアプローチしていただけたのがすごく良かった。この研修は、今後の自分の意識を確実に変えられるものだと思うので、より多くの人に参加してもらいたいと思った。
- ・大変有意義な時間を過ごすことができた。島の方との交流や、自然環境を学ぶ場としてとてもよかった。
- ・社内の次世代を担う人へ参加を促したいと思う。
- ・本四高速の皆さんのホスピタリティがすばらしく、島の方々との信頼関係がしっかりと出来ているからこそそのコンテンツだと感じた。
- ・頭で分かっていると思っていたようなことでも、改めて身をもって体験し、再認識することができた。研修の重要性を認識した。
- ・五感を使った研修は大変面白く、次回、同僚に勧めたい。

【結果分析】

参加者の評価は、総じて高い結果となった。これは、研修全体を通じて、島の置かれている課題について島の方々と一緒に実践して解決する内容となっているため、各参加者がこの取組に共感したことが要因であると分析する。

3. 島旅の活性化

◆継続・発展のために、提案、改善点等の指摘に関する参加者からのご意見

【島の文化・島の方々との交流】

- ・島の方との情報交換や交流がもっと深まれば良い。現状を直接お話し頂く機会があった方が良い。実際に暮らす方の実感がもっとわかると思う。具体的な提言までできるとなお良い。
- ・島の方と実際に話す時間がもう少しとれたら良かったと思う。食事や活動の際にさせていただいた話を他の方にも聞いていただけたらと思った。
- ・島に関する文化、歴史等の説明がなかったので、どんな島か分かって良かった。全体的にとっても勉強になった。
- ・住民の方とフリーに話できる時間がもう少しあると良かった。

【研修プログラム】

- ・島の現状について、かけ足で概要のみだったので、詳しくもう少し長く時間をとって講義いただけるとありがたい。
- ・体験については、実地での案内を増やしつつ、もっと長時間でもいいと思った。
- ・広島の実況の勉強として、島内の様子を見て回る時間があればと思った。
- ・島民の方々との触れ合いの時間も、大変良かった。講義の間に少しインターバルがあると有難い。共通の作業を行うイベント、掃除等は親睦を深めやすくして良い。
- ・全員で話せる機会、ランチ時間に地元の方と質疑できたのが良かった。アイスブレイクになった。もう少し長く(30分程)時間があると、次の活動までにうちとけることができたかも。小グループでディスカッションの機会をもう少しあると良かった。ワークのやり方の改善も(必要)。

【運営方法・事業戦略】

- ・管理者方と若手の構成は検討の余地があると思う。50代、40代、30～20代を各30%ずつ。経営者方を10%として全体で考える研修とすれば、より実効性が上がるのではないか。
- ・内容は素晴らしいと思う。参加を呼びかければ人が集まるかと。一度参加した人から周りに話をし、組織的に人を出していくという方法ができれば良いと思う。
- ・外部向け研修を営業用パッケージとして有料化する。SDGs、環境、瀬戸内などをテーマ、関心を示している団体、学校、企業をターゲットとして定番化させ横展開を図る。今回は研修として設定しているが、研修2時間プラス観光体験1時間などとしてパッケージとしても良い。新入社員研修等は十分考えられる。
- ・特定の人的マンパワーに負担がかかりすぎることなく、なるべく薄く広く様々な方々の協力を得ながら進めて行くことが重要ではないか。

3. 島旅の活性化

◆せとうち島塾を継続・発展していくための課題

【収益性】

- ・収益事業とするための価格設定
- ・企業研修としての売り出し
- ・旅行プラン(体験型)造成の模索

【施設等】

- ・宿泊施設、トイレ等衛生施設
- ・急な傷病時における医療施設

【自治体等行政機関の協力】

- ・せとうち島塾の目的に沿った講師の選定
- ・宿泊を含めた研修施設の確保

【島民の方々との交流の継続】

- ・島塾インストラクター高齢化に伴う
- ・次世代の担い手育成

3. 島旅の活性化

(2) せとうち島旅フェス2022実施報告について

① 目的とテーマ

地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信することを目的とする「せとうち魅力発見」キャンペーンの第2弾として、「せとうち島旅フェス2022」を与島PAで開催した。

テーマは、「島旅 島々と出会って学ぶSDGs」とし、島々を紹介する島旅ステージや特産品等を販売するマルシェとともに、瀬戸大橋インフラツアーやフェス期間限定の臨時クルーズを与島から発着させるなど、与島PAを拠点とした新しい地域連携の取組みを実施した。

今後も持続可能な島の暮らしと島旅の可能性を追求し、発現していく場として、次回は、2023年5月に実施する予定

② イベント概要

■ 日 時 2022年5月14日(土)・15日(日)10:00～16:00

■ 会 場 E30 瀬戸中央自動車道与島パーキングエリア

■ 実施内容

- ・せとうち島旅ステージ(葉加瀬太郎様等ご出演)
- ・せとうちマルシェ ブース数(25)
- ・インフラツアー(与島橋ウォーク、アンカレイジツアー)
- ・島旅クルーズ(瀬戸大橋くぐりクルーズ、本島航路で行く本島めぐり)



総合プロデューサー
小林希様



3. 島旅の活性化

③「せとうち島旅フェス 2022」効果・課題等

1. 塩飽諸島や地域の魅力発信

- ・28団体の地域の方々に出店・出演していただき、与島PAを拠点とした地域の魅力を発信
- ・出店者・出演団体からは、地域の魅力を多くの方に紹介することができた、特産品の販売も好調であった、次回もお願いしたいなど喜びの声が聞かれた。

2. 島旅・インフラツアーの需要・効果

- ・2日間で延べ1,000人以上のお客様が参加され、島旅やインフラツアーのポテンシャルを確認
- ・参加者からは、島旅など初めての体験に対する感動や喜びの声が聞かれた。

3. 来場者数・参加者の声

- ・2日間で約15,000名の立寄があった(R1年度比125%)。
- ・葉加瀬太郎さんのミニライブなどイベント自体を目的とする来場者も多く、ステージイベントに集客効果があった。プロモーションの改善により更なる集客が期待される(観客約600名)。
- ・アンケート調査では、次回の開催を望む声が多く聞かれた。なお、来場者の79%は、岡山・香川など近隣からの訪問であった。

4. 関係機関との連携

- ・農林水産省中国四国農政局との連携協定に基づく取組の場として本イベントを活用し、食料・農林水産政策やSDGsに関する取組を紹介するなど連携効果を発現

5. 課題

- ・一過性ではなく地域のイベントとして如何に「風物詩化」を図れるか。
- ・インフラツアー、島旅の継続的な実施に向けた体制作り。
- ・広域的なプロモーションやターゲットに合わせた媒体の選別、プロモーション期間の確保

3. 島旅の活性化

④せとうち島旅フェス2022実施状況

a. 島旅ステージ



せとうちアンバサダー就任式



せとうち島旅紹介
(総合プロデューサー小林希さん)



与島展望台setonaロゴマーク



来場のお客様

3. 島旅の活性化



葉加瀬太郎さんミニライブ



SDGs取組紹介 中国四国農政局／JB本四高速



与島展望台ネーミング発表

3. 島旅の活性化



地元の方々のパフォーマンス

3. 島旅の活性化

b. せとうちマルシェ



3. 島旅の活性化



3. 島旅の活性化

c.瀬戸大橋インフラツアー ・アンカレイジ見学会



参加人数 計331名

3. 島旅の活性化

・ 与島橋ウォーク



参加人数 計66名

3. 島旅の活性化

d. 島旅クルーズ

・本島航路で行く本島(笠島地区)めぐり

実施回数: 7本/日 9:20~16:20

対象人数: 40名迄/回

実施体制: 加藤汽船トラベル(当日受付)

ガイド体制: 本島 吉田邸 真木邸に配置

島内(笠島地区中心)パンフ配布

※インフラツアーについては、島内ガイド配置



参加人数
計169名

・瀬戸大橋くぐりクルーズ

実施回数: 6本/日 10:00~16:10

対象人数: 80名迄/回

実施体制: 加藤汽船トラベル(当日受付)

ガイド体制: 船内ガイド(BE塔頂体験スタッフを予定)



参加人数
計409名

本島クルーズ(与島~本島)					
便	与島発	笠島着	便	笠島発	与島着
①	9:20	9:40	①	9:50	10:10
②	10:20	10:40	②	10:50	11:10
③	11:20	11:40	③	11:50	12:10
④	12:30	12:50	④	13:00	13:20
⑤	13:30	13:50	⑤	14:00	14:20
⑥	14:30	14:50	⑥	15:00	15:20
⑦	15:30	15:50	⑦	16:30	16:50

※黄はツアー。一般乗船も可。

周遊クルーズ(与島~与島)		
便	与島発	与島着
①	10:00	10:40
②	11:00	11:40
③	12:30	13:10
④	13:30	14:10
⑤	14:30	15:10
⑥	15:30	16:10

※黄はツアー。一般乗船も可。

本島航路で行く本島(笠島地区)めぐり



出典: 国土地理院

瀬戸大橋くぐりクルーズ



出典: 国土地理院

Bridge : Communication & Technology

3. 島旅の活性化

○実施状況写真

- ・本島航路で行く本島（笠島地区）めぐり



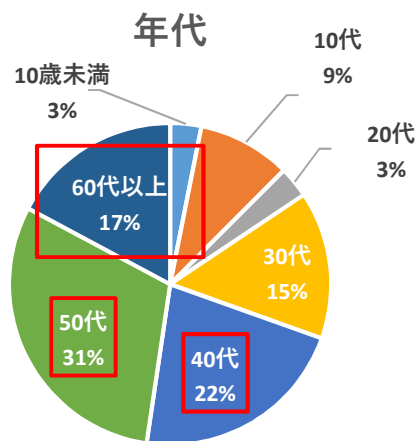
3. 島旅の活性化

- 瀬戸大橋くぐりクルーズ

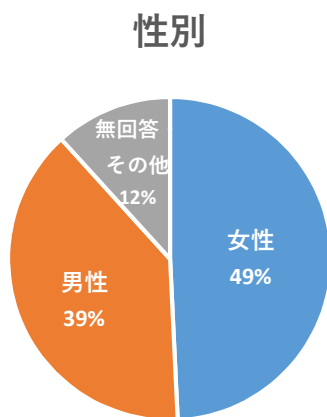


3. 島旅の活性化

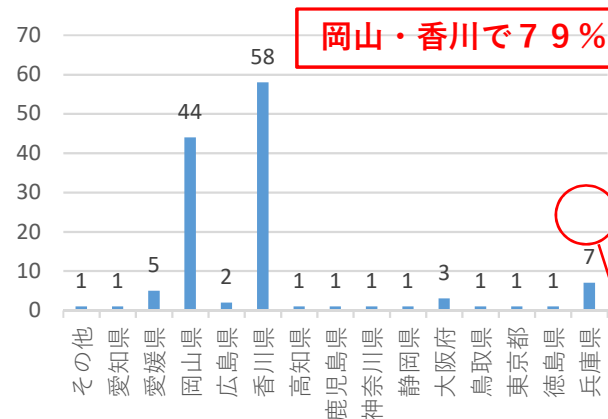
(参考) アンケート結果内訳 (アンケート回答者数 128名)



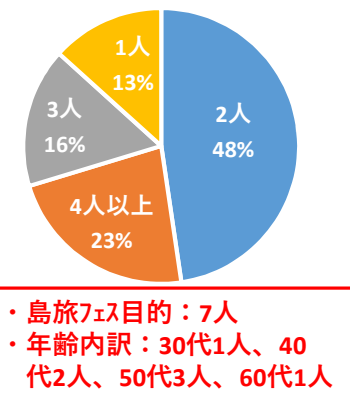
40代以上70%



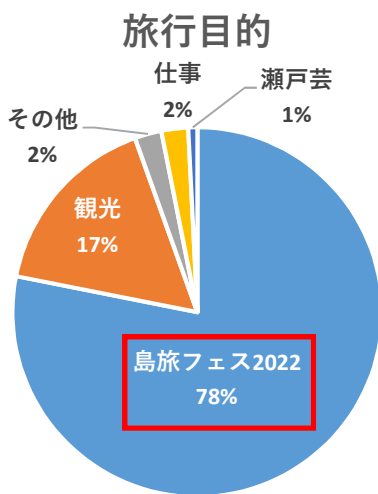
出発地 (単位: 人)



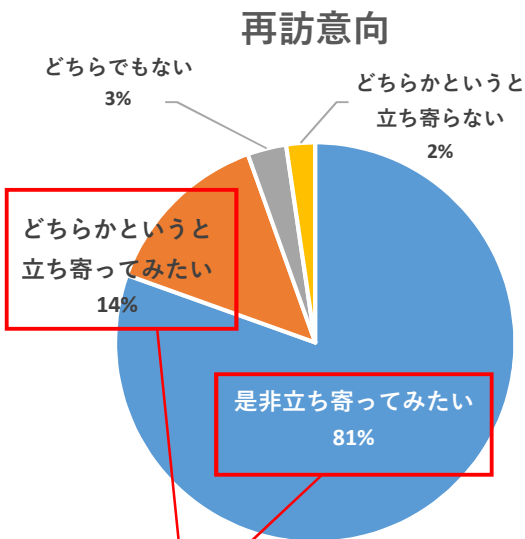
来場者数



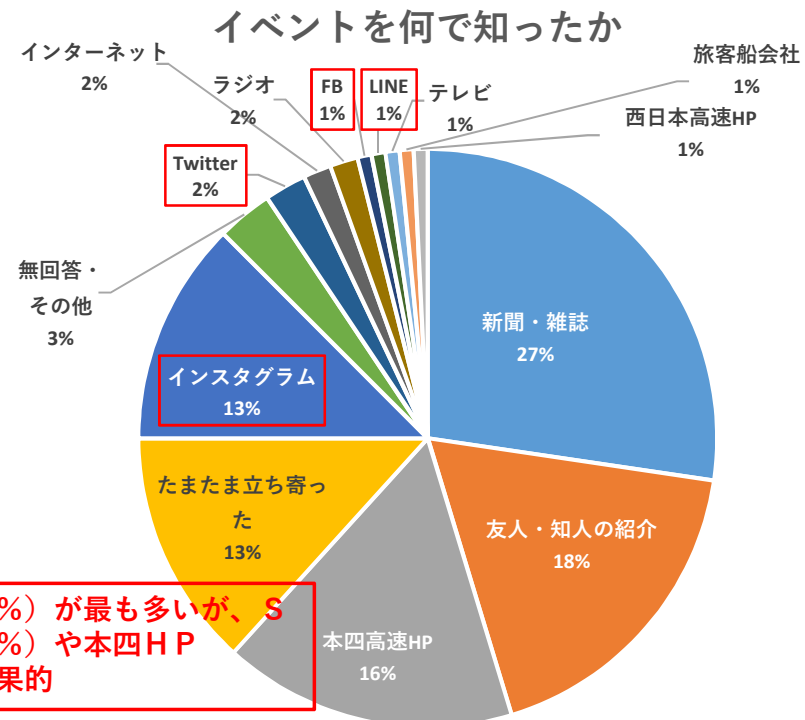
島旅フェス目的: 7人
年齢内訳: 30代1人、40代2人、50代3人、60代1人



イベント目的78%



また行きたい95%



新聞雑誌 (27%) が最も多いが、SNS (合計17%) や本四HP (16%) も効果的

3. 島旅の活性化

(3) FAMツアーについて

■ 目的

当社では、これまでもワークショップ等で提案された観光コンテンツを組み合わせ、様々なターゲットを設定し、多様なコンテンツの可能性を模索するFAMツアーを塩飽諸島で実施しているところであり、今年度についてもアクティブシニア向け、親子向けFAMツアー等を実施した。

(次ページ以降紹介)

こうした実績を踏まえ、塩飽諸島への島旅を商品化する旅行会社も出現しており、引き続き多様なFAMツアーを実施することにより、島旅という旅行商品の造成に取り組む計画としている。

3. 島旅の活性化

①2022.4.23～24

アクティブシニア向けFAMツアー

【実施概要】

塩飽諸島の島旅について、魅力あるプランを造成することを目的として、アクティブシニア向けに、歴史・文化を感じる街歩き・山登りなど、活動的なコンテンツを中心としたツアーを実施した。

■ 実施日： 令和4年4月23日(土)～24日(日)

■ 参加者(有識者)：メディア、旅行事業者、観光関連事業者など

■ 行程

【1日目】

JR児島駅～与島PA(瀬戸大橋塔頂体験、昼食)～与島港～本島笠島港(笠島地区の街並み、吉田邸、塩飽勤番所～本島(泊港)～粟島(泊)

【2日目】

Aコース：粟島～志々島(天空の花畑、樹齢1200年の大楠、展望台、休憩所くすくす)～粟島

Bコース：粟島内散策(芸術家村、海洋記念公園、西浜、馬城八幡神社、上新田、ぶいぶいがーでん)粟島港

■ 効果及び今後の課題

・効果：旅行に関係する各方面の有識者が一堂に会し、意見を集約することができた。また、塩飽諸島としての潜在的な魅力を再発見することができた。

3. 島旅の活性化

- ・課題：
 - ・塩飽諸島としての潜在的な魅力の再発見とその情報発信
 - ・島の魅力を伝えるガイド、人材の育成、継承の必要性
 - ・アイランドホッピングを可能とするアクセスの改善
 - ・食の魅力、付加価値向上への取組期待
 - ・島の生活や文化を域外の人に伝えるコミュニケーション手段、手法創出
 - ・瀬戸大橋と島の魅力を結びつけるアイデアと工夫改善

○実施状況写真



塔頂体験



吉田邸(本島)



塩飽勤番所(本島)



芸術家村(粟島)



天空の花畑(志々島)



意見交換

3. 島旅の活性化

②2022.5.28～29

親子向けFAMツアー

【実施概要】

子供が自然に触れ、島の人と交流し、自分の手で何かを作る体験をすることで、豊かさの価値を肌で感じたり、自然環境問題を考えるきっかけになったりする島旅となることを目的として、地域資源を活かした体験プログラム及び飲食・宿泊サービス等を組み合わせた周遊観光ツアーを、子育て家族層を対象として企画、実施した。

- 実施日：令和4年5月28日（土）～ 29日（日）
- 参加者：メディア、旅行事業者、観光関連事業者など
親子は、メディア関係者 4組を招待

■ 行程

【1日目】

JR児島駅～与島PA(瀬戸大橋塔頂体験、昼食)～六口島(象岩、砂浜遊び)～粟島(漂流郵便局、海ほたる鑑賞)泊

【2日目】

粟島(城ノ山登山、西の浜海ごみ調査、水ランプ作り体験)～JR児島駅

■ 効果及び今後の課題

- ・効果：瀬戸大橋塔頂体験、海ほたる体験は、アンケートの結果、非常に高い満足度であることが分かった。
海ごみ調査も参加・体験型であるため、記憶に残りやすく、参加した親子について、ごみや環境問題に対する意識向上に繋がった。また、参加者全員が「またツアーに参加したい」「友人知人に勧めたい」を選択しており、今回のFAMツアーで取り上げたコンテンツに対して概ね満足度が高かった結果となった。

3. 島旅の活性化

- ・課題：・季節からも体験主旨が明確でなかった六口島については評価が低く、訪れる目的やストーリーを明確にさせる必要がある。
- ・船移動は天候に左右され、強風・波の影響により船酔いをする、服が濡れる等の事態が生じる。
- ・体験コンテンツの評価結果から、瀬戸大橋ガイドの説明に対して、4名(44%)が「どちらかといえば不満」と選択している。
- ・話の内容(専門用語)、説明時間(長い)、環境(立ちっぱなし)に課題があると思われる。また、対象年齢についても小学校以下に引き下げても問題がないと思われるが、安全面での検証が必要である。

○実施状況写真



塔頂体験



せとうちクルーズ



砂浜遊び(六口島)



漂流郵便局(栗島)



海ほたる鑑賞(栗島)



海ごみ調査(栗島)

3. 島旅の活性化

③2022.10.1～10.2児島・小与島・櫃石島をめぐるFAMツアー

【実施概要】

塩飽諸島の島旅について、魅力あるツアーの造成を目的として、有識者を招聘し、倉敷市児島・下津井地区の観光施設及び与島の東に位置する小与島、櫃石島をめぐるツアーを実施した。

■実施日時： 令和4年10月1日(土)～2日(日)

■参加者：メディア、旅行事業者、観光関連事業者、インフルエンサーなど

■行程

【1日目】

倉敷市児島地区(旧野崎家住宅、ジーンズストリート)～鷲羽山レストハウス～
むかし下津井回船問屋

【2日目】

児島観光港～小与島(石切り場跡、旧ホテルアクア外観)～櫃石島福王寺
夢アートスタジオ～児島観光港

■効果及び今後の課題

- ・効果： 児島、小与島、櫃石島に所在する各施設・名所について、有識者より観光コンテンツとして十分成り立つとのことがあった。特に、福王寺夢アートスタジオについては、旧小学校を活用したものであり、設立後間もないことから、潜在的な需要があるのではないかとのご意見があった。
- ・課題： 総じて、各施設の周辺に、観光客がお金を落とす店舗等が少ないことが挙げられる。特に、小与島は、住民が二人しかいなく店舗もないことから、ツアーとして成り立たせるためには、当社インフラツアーを含めたツアーを造成させることなどが必要となる。
また、櫃石島は、店舗がないほかに、チャーター船を除くと、1日5便の路線バスしか立ち入ることができない。さらに、櫃石島夢アートスタジオは、坂出市が運営しており、毎月第三日曜日にしか一般開放していないため、ツアーを造成するためには、島民の了解及び坂出市との調整が必要になる。

3. 島旅の活性化

○実施状況写真



旧野崎家住宅



ジーンズストリート



鷺羽山レストハウス(展望台)



福王寺夢アートスタジオ(塗料製作過程)



福王寺夢アートスタジオ(作品紹介)



小与島散策

3. 島旅の活性化

FAMツアーを踏まえた旅行商品造成の実例

自然溢れる豊かな島 栗島コース

船に揺られること約15分。瀬戸内海に浮かぶ栗島。そこには、ゆったりとした島時間が流れています。島でこそ体験できる内容を日帰り・1泊2日コースでご用意しました。自然溢れる島内を心置きなくお楽しみください。

日帰りコース

参加人数	参加費用 (おひとり)
10名~14名	29,000円 (税込)
15名~19名	23,000円 (税込)

9:00 高松市内 出発
9:30 栗島到着・開会式
10:00 **ビーチコーミング**
12:00 ご昼食
13:30~16:30 島内散策
18:00 高松市到着 解散

1泊2日コース

参加人数	2名1室利用 / 参加費用 (おひとり)
10名~14名	50,000円 (税込)
15名~19名	45,000円 (税込)

1日目
10:00 高松市内 出発
10:30 三島市にてご昼食
12:30~13:10 須田港~栗島 (フェリー)
13:20~15:00 **ビーチコーミング**
16:00 ル・ポール栗島
18:00 高松市到着 解散

2日目
8:00 ホテル出発
8:40 栗島内散策
9:50~11:40 栗島~志々島 (フェリー)
11:50 志々島にてご昼食
12:40 志々島内散策
14:20~16:20 志々島~宮の下港 (フェリー)
17:20 高松市到着 解散

① 栗島でのビーチコーミング(海遊び) 及び志々島へのクルーズプラン

② 志々島クルーズと瀬戸大橋インフラツアーを組み合わせたプラン

3S729 貸切海上タクシーで行く! 瀬戸内海の絶景パノラマ×神秘的島 志々島

絶景 瀬戸大橋塔頂ツアー

普段立ち入ることのできない海面175mの塔頂

島の食材を使った 志々島ごちそうランチ

島民ガイドがご案内! 樹齢約1,200年の大楠

■ 出発日 11月5日+6日

■ 旅行代金 (おひとり) **16,990円**

※ 食事・昼食1回

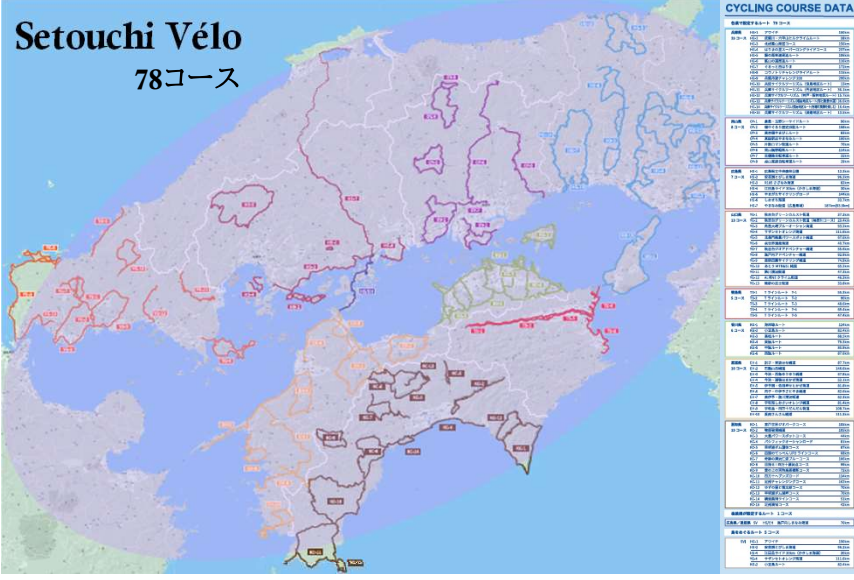
原乗員・同行 最少乗行人員:10名

4. サイクリングによる地域発信

しまなみ海道や淡路島一周（「あわいち」）、四国一周など、瀬戸内地域に存するサイクリングルートネットワークをネットワーク化し、サイクリングを通じて地域の魅力を国内外に発信する。

(1) Setouchi Vélo構想(環瀬戸内サイクリングネットワーク構想)

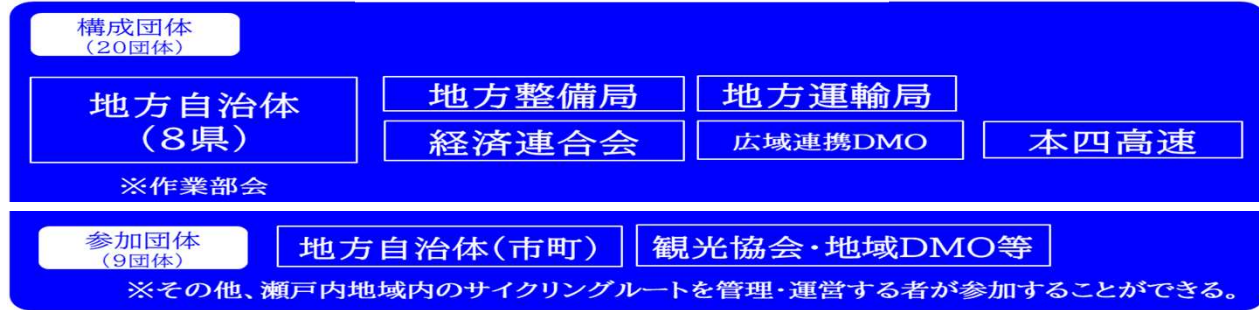
国・公共団体及び地域経済団体と連携し、瀬戸内及びその周辺地域を、環境に配慮した、安全で快適な、世界にも認められる「サイクリングの推進エリア」に育てることにより、瀬戸内及びその周辺地域のブランド価値の向上による持続的な地域振興を実現するため、広域での活動による誘客効果の波及を目的としたサイクリングルートのネットワーク化、道路環境や受入環境の整備など、安全で快適な走行空間の創出、国際大会等への積極的参画、環境に配慮するなどSDGsの観点も踏まえた国内外への情報発信等を実施していくこととしている。



(2) Setouchi Vélo協議会構成団体と参加団体

瀬戸内地域に存する多数のサイクリングルートをネットワーク化し、サイクリングで自在に周遊できるようにするとともに、安全利用等も含めた受入態勢を整えるなど、瀬戸内地域が「サイクリングの推進エリア」となることを目的とし、関係機関で構成する協議会を設立

Setouchi Vélo協議会



<協議会構成団体>
 兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、中国運輸局、四国運輸局、中国経済連合会、四国経済連合会、一般社団法人せとうち観光推進機構、一般社団法人四国ツーリズム創造機構(事務局)中国地方整備局、四国地方整備局、本州四国連絡高速道路株式会社

4. サイクリングによる地域発信

① Setouchi Vélo 来島海峡会議の開催

■日 時 10月29日(土)13:00~13:30

■場 所 来島海峡SA 2階テラス

■出席者 17団体の代表17名

■議 事

- ①開会コメント:後藤社長
- ②開催県挨拶:愛媛県 中村知事
- ③地元代表挨拶:四国経済連合会 佐伯会長
- ④Setouchi Vélo「愛媛宣言」の採択

■マスコミ 3社

※終了後、来島海峡大橋トライアルライドを実施



来島海峡会議(来島海峡SA 2階テラス)



記念撮影(しまなみピン)



出発の様子(しまなみゲート)



塔頂撮影

4. サイクリングによる地域発信

②Setouchi Vélo 協議会設立総会

■日 時 10月29日(土)16:00～16:40

■場 所 今治国際ホテル「真珠の間」

■出席者 30団体75名

■議 事

- ①協議会規約の承認:後藤社長
- ②協議会の設立宣言・会長挨拶:愛媛県 中村知事
- ③設立団体代表挨拶:広島県 湯崎知事、
四国経済連合会 佐伯会長
- ④記念講演:プロサイクリスト門田氏
- ⑤次回開催県挨拶:香川県 池田知事
- ⑥鏡開き・記念撮影

■マスコミ 3社



設立総会(今治国際ホテル「真珠の間」)



設立団体代表挨拶



記念講演



次回開催県挨拶



4. サイクリングによる地域発信

③Setouchi Vélo協議会の活動について

協議会は、次の事項について連絡、調整を行い、相互に連携、協力することにより目的の達成を図る。

1. サイクリングルートのネットワーク化

瀬戸内地域等それぞれに存する多数のサイクリングルートを「Setouchi Véloルート」として行政境界を越えてネットワーク化し、瀬戸内地域等が広域に連携したサイクリングエリアとなることを目指す。

2. サイクリングの推進エリア化

瀬戸内地域等を「日本屈指のサイクリングの推進エリア」として国内外にアピールできるよう、歩行者・自転車・自動車等が互いに安全に道路を利用できる快適性の高い自転車文化の構築を目指す。また、老若男女を問わず幅広い層がサイクリングを楽しめるよう、e-bikeの普及・促進を推進する。

3. 国内外への情報発信

世界に誇るサイクリングルートを有する瀬戸内地域等を国内外に向けて発信するため、マップ、ホームページの活用やメディア、DMO等との連携、新たなSetouchi VéloルートをPRするためのキャラバンの実施など、各種活動を展開する。

4. サイクリングによる地域発信

1. サイクリングルートのネットワーク化

1) Setouchi Vélo配布用マップの作成・配布

1月20日 瀬戸内地域及びその周辺エリアにおいて75,000部を配布

ひとつの瀬戸内、それぞれのストーリー。
one setouchi, each story.

Setouchi Vélo
CYCLING AREA MAP

CYCLING AREA MAP

CYCLING COURSE DATA

路線	区間	距離	所要時間
瀬戸内	瀬戸内 1区間	100km	約5時間
	瀬戸内 2区間	100km	約5時間
	瀬戸内 3区間	100km	約5時間
	瀬戸内 4区間	100km	約5時間
岡山	岡山 1区間	100km	約5時間
	岡山 2区間	100km	約5時間
	岡山 3区間	100km	約5時間
	岡山 4区間	100km	約5時間
広島	広島 1区間	100km	約5時間
	広島 2区間	100km	約5時間
	広島 3区間	100km	約5時間
	広島 4区間	100km	約5時間
香川	香川 1区間	100km	約5時間
	香川 2区間	100km	約5時間
	香川 3区間	100km	約5時間
	香川 4区間	100km	約5時間
徳島	徳島 1区間	100km	約5時間
	徳島 2区間	100km	約5時間
	徳島 3区間	100km	約5時間
	徳島 4区間	100km	約5時間
高知	高知 1区間	100km	約5時間
	高知 2区間	100km	約5時間
	高知 3区間	100km	約5時間
	高知 4区間	100km	約5時間
愛媛	愛媛 1区間	100km	約5時間
	愛媛 2区間	100km	約5時間
	愛媛 3区間	100km	約5時間
	愛媛 4区間	100km	約5時間
島	島 1区間	100km	約5時間
	島 2区間	100km	約5時間
	島 3区間	100km	約5時間
	島 4区間	100km	約5時間
山口	山口 1区間	100km	約5時間
	山口 2区間	100km	約5時間
	山口 3区間	100km	約5時間
	山口 4区間	100km	約5時間
岡山	岡山 1区間	100km	約5時間
	岡山 2区間	100km	約5時間
	岡山 3区間	100km	約5時間
	岡山 4区間	100km	約5時間
兵庫	兵庫 1区間	100km	約5時間
	兵庫 2区間	100km	約5時間
	兵庫 3区間	100km	約5時間
	兵庫 4区間	100km	約5時間

追記のQRコードより各県の指定するサイクリング紹介HPへ

兵庫県 14
岡山県 8
広島県 7
山口県 13
徳島県 5
香川県 6
愛媛県 10
高知県 15
島 5

4. サイクリングによる地域発信

2) Setouchi Véloホームページの充実

10月29日Setouchi Véloホームページ開設

◆ 掲載情報について(初版)

○Setouchi Véloサイクリングルート(地図及びコース一覧)

・各県で設定するルート

例)HG-1アワイチコース:兵庫県の設定する1番目のルート

・各県が設定する島(Island)をめぐるルート(一部①と重複)

例)KG-2 まめいちコース:瀬戸内の島をめぐる2番目のルート

・複数県が設定するルート

例)SV-1 せといちコース:瀬戸内を一周する、複数県にまたがる1番目のルート

○各ルート名称及び距離、ポイントの紹介(画像付)

○トピックス

※1月6日以降、各構成団体が運用等を行っているウェブサイト(観光HPやサイクリング紹介頁など)や関連サイトへリンク

◆ 今後のSetouchi Véloホームページ更新(大規模)予定

○ 4月更新

【主な更新内容】

- ・各ルート紹介頁追加
- ・スマートフォンアプリでのナビ機能の導入
- ・サイクルサービスステーション等(後出のSetouchi Véloスポット)募集要項の追加

HG-1アワイチコース:兵庫県の設定する2番目のルート

[Setouchi Vélo
サイクリングルート](#)

バナーイメージ



Setouchi VéloWeb URL

<https://setouchivelo.jp/>

4. サイクリングによる地域発信

3) 新たな県跨ぎルートについて

「有識者による意見交換会」にて有識者と意見交換を行った新たな県跨ぎルート

県跨ぎルート								
(仮称) 播磨灘一周	淡路島・小豆島を瀬戸内海岸線コースでつなぐルート						450km	兵庫・岡山・徳島・香川
	HG-1	HG-4	HG-7	OY-1	TS-4	KG-1		
(仮称) 西瀬戸一周	宮島・錦帯橋・道後温泉、西瀬戸の観光名所をつなぐルート						350km	広島・山口・愛媛
	HS-2	HS-3	HS-4	YG-4	EH-4	しまなみ		

◆ 今後の流れ

- ・各県から県跨ぎルートについて意見、提案
- ・有識者との意見交換会を実施(2月)
- ・トライアルライドを実施(3月～)

[Setouchi Vélo](#)
サイクリングルート



4. サイクリングによる地域発信

2. サイクリングの推進エリア化

1) トライアルライドの実施

既存サイクリングルート of 新たな魅力の発見、県を跨ぐ新たなルート開発のためのトライアルライドを実施

愛媛県トライアルライド(メディア含め17名 走行距離約64km)

○実施日: 8月26日(金)~27日(土)

○行程: 今治発 ~大三島(WAKKA)~生口島~ゆめしま海道
~とびしま海道~安芸川尻まで

山口県トライアルライド

○実施日: 9月7日(水)~8日(木)

○行程: 廿日市市発~宮島~錦帯橋~柳井~周防大島~松山~今治まで

香川県トライアルライド

○実施日: 9月15日(木)~16日(金)

○行程: 小豆島一周~高松~鳴門まで

[Setouchi Vélo
サイクリングルート](#)



4. サイクリングによる地域発信

2) 市町等で開催する会合の検討

トライアルライドの実施に合わせ、サイクリングの推進エリア化に関する情報共有等を目的とした講演等を含む市町等での会合の開催を検討

(イメージ) ○○市における××会合



講演等を含む会合

+

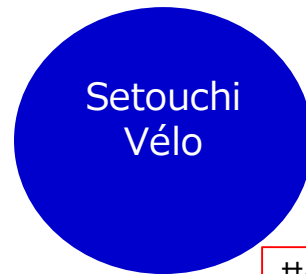


トライアルライドの実施

4. サイクリングによる地域発信

3) Setouchi Véloスポットの登録

サイクルラックの設置や空気入れの貸与などにこだわらず、沿線地域がおもてなし精神に基づき、創意工夫を凝らしてサイクリストを支援、応援することを期待し、「大盛り無料」や「ドリンクサービス」、「お土産1割引」「粗品プレゼント」、あるいはトイレの利用や水道水の提供など施設等からの登録



サイクリングルート
マップに表示

[Setouchi Vélo
サイクリングルート](#)

4) e-bikeの普及促進

「e-bike体験乗車会実施要領」を作成し、様々な施設でのe-bikeレンタルの導入の誘因となるよう、観光協会やホテル、観光施設等を対象とし、e-bikeの体験乗車会を開催

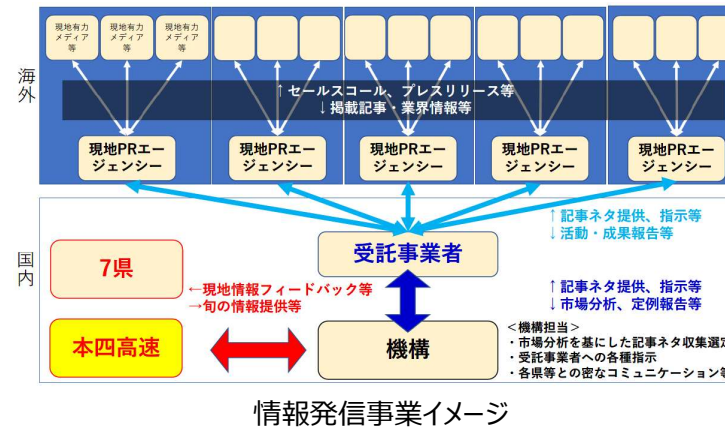


4. サイクリングによる地域発信

3. 国内外への情報発信

- ・せとうちDMOとの連携について

地域の認知度向上に向けた欧米豪市場への情報発信事業及び海外向け情報発信の連携検討



以下、実施検討

- ◆ メディア向けキャラバンの実施について

広域メディアへの訴求を目的とし、複数県にまたがる新たなルート設定において、対象となる県、市町等を訪問するメディア向けキャラバンを実施

- ◆ 海外調査の実施検討について

5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

瀬戸内地域に存する美術館・博物館81施設のネットワーク(「せとうち美術館ネットワーク」平成20年スタート、本四高速が事務局)のつながりを深化、発展させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献する。

(1) せとうち美術館サミットの開催

せとうち美術館サミット

ネットワークに参加する美術館・博物館が一堂に会し、相互交流や情報交換等を行う「せとうち美術館サミット」を毎年開催しており、2022年については11月22日に、ネットワークの活用による地域活性化を図る目的で岡山県にて第14回サミットを開催した。

第14回せとうち美術館サミット開催概要

- ◎開催日:11月22日(火)
- ◎開催会場:ホテルグランヴィア岡山
- ◎開催内容
 - ▷2021年度・2022年度上半期事業報告
 - ▷2023年度の取組紹介
 - ▷美術館から取り組み事例の紹介
林原美術館、夢二郷土美術館、
徳島県立近代美術館、大分市美術館



5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

(2) ネットワークの新たな展開

① せとうちアート通信の創刊

- ネットワーク参加施設の特別展・企画展のチラシやポスターの紹介に加え、美術館周遊ルートや本四高速の地域連携事業の取り組みを記載したタブロイドペーパー「せとうちアート通信」を8月に創刊し、四半期ごとに発行している。
- 創刊号では28館が参加するデジタルスタンプラリーを実施。第2号では、大三島を1周して美術館5館を巡るサイクリングコースを紹介するなど、観光コンテンツとしての美術館の魅力を創出し、施設間の連携を深め、周遊促進を狙った紙面づくりを行っている。
- 創刊号は一般社団法人日本地域情報振興協会が主催する“日本地域情報コンテンツ大賞2022”において、タブロイド部門の最優秀賞に選出され、高い評価を受けた。



後援: 内閣府 / 経済産業省 / 農林水産省 / 観光庁
(公社)日本観光振興協会

5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

② せとうちアートセミナーの実施

せとうち美術館ネットワークの事業の一環である「ネットワークを活用した美術教育に資する事業」として、せとうちのアートの魅力や、美術教育に関する内容のお客様向けの講演会「せとうちアートセミナー」を、岡山市芸術祭と連携して全3回開催した。

開催概要

統一テーマ:「瀬戸内から世界へ、世界から瀬戸内へ」

開催会場: KURUN HALL (岡山市)

- 第1回 9月24日
講師:大原美術館副館長 森川 政典氏
演題:「大原美術館の挑戦」
- 第2回 10月16日
講師:林原美術館館長 谷一 尚氏
演題:「オリエントとガラス」
- 第3回 11月22日
講師:平山郁夫美術館館長 平山 助成氏
演題「瀬戸内からシルクロードへ」

岡山市芸術祭
第60回 岡山市芸術祭参加事業
瀬戸内から世界へ、
世界から瀬戸内へ

せとうち
アートセミナー

9月24日 13:00-12:30
～大原美術館の挑戦～
講師:大原美術館副館長 森川 政典氏

10月16日 14:00-15:10
～オリエントとガラス～
講師:林原美術館館長 谷一 尚氏

11月22日 14:00-15:10
～瀬戸内からシルクロードへ～
講師:平山郁夫美術館館長 平山 助成氏

会場: KURUN HALL (クルンホール) (086) 700-8635
岡山県北區下石町3-10-12

参加費: 無料 ※会場1階受付で参加券をお取り下さい

定員: 各回100名 先着順 ※要予約(1ヶ月前)迄

瀬戸内橋塔頂体験ツアー
にご招待

申込方法: 電話・二次付コードから
せとうち美術館ネットワークHPへアクセスし、
お申込みください(要予約) ※会場1階受付で参加券をお取り下さい

主催: せとうち美術館ネットワーク
共催: 岡山県(岡山県観光戦略推進課)・岡山県美術館(岡山県立美術館)・岡山県立美術館(岡山県立美術館)

TEL 078-291-1077



5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

③ せとうちアートツアー

- 美術館ネットワークに参加している施設と意見交換を重ねていく中で、プレミアムな体験ができるようなツアーについて美術館からアイデアをいただき、本四高速が美術館とツアー会社との“橋渡し”を行うことで、美術館を巡る「せとうちアートツアー」が実現
- 第一弾として、林原美術館の谷一尚館長がコーディネート及びアテンドを行うプレミアムツアーを2023年3月に開催予定。普段見ることができない国宝などの所蔵品を見ることができる特別体験を用意して2022年11月から募集開始している。

★☆JB本四高速共同企画・せとうちアートツアー★☆

～～～特別企画・林原美術館 谷一尚館長がご案内～～～

林原美術館・谷一尚館長がご案内！3日間同行します(松江～姫路)



プロフィール
1982年生まれ。東京大学文学部考古学専攻、同大学院博士（文学）。
国立女子大学大学院教授、岡山県立オリエント美術館館長、日本美術会理事兼評議員、日本ガラス工芸学会会長を経て、林原美術館長、山陽学園大学
教授、助学長。

長がご案内！国宝姫路城とリニューアルした福山城・岡山城 瀬戸
【能3日間】 【羽田発】

ツアー★☆☆ <ワクチン・検査パッケージ適用> <グループ以外/バス相席なし/30名様限
定(長崎県)

コース番号	03178-990
出発地	関東/東京23区
日数	2泊3日
旅行条件	最少催行人員：15名様 朝食：2回/昼食：1回/夕食：2回 添乗員：あり 現地係員：なし
関連キーワード	おひとり参加可能な旅人同士、家族旅行、夫婦旅行、卒業旅行、 歴史・世界遺産、期間限定・特別企画、1名1室同旅行代金Aラン ク、30名様以下ツアー
ブランド名	クラブツーリズムの旅
★	考え中ボックスに追加
☑	ツアー情報を共有する
📄	比較表に追加
📧	催行決定お知らせメールを 受け取る

> 催行決定お知らせメールとは

【クラブツーリズム(株)】

約700万人の会員組織を誇るダイレクトマーケティング型の個人旅行事業で、主に中高年向けの国内外ツアーを主催している。会員情報誌「旅の友」の配布によるメディア販売を中心として販売。現在約8,000人を数える趣味のサークル活動やカルチャーセンターも主催。美術館関連ツアーにも関心が高い。

【商品企画のポイント】

- ①全行程、館長が同行、歴史に精通した館長がツアーに同行し、わかりやすくご案内いただけること。建築や美術の観点から普段お話を聞く機会がめったにないので、特別な体験となり、このツアーならではのセールスポイントになる。
- ②コース作成や観光箇所の所要時間、ルートなど旅行会社の企画担当者と館長が連携し、ベストなコースを選定した。

5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

(2) 今後の展開

① パスポート化及びデジタルスタンプラリーの実施

お客様に新たな美術館周遊のきっかけとして利用していただくため、入館証明スタンプの押印などができる『せとうち美術館ネットワークパスポート(仮称)』を発行するとともに、デジタルスタンプラリーの実施を予定
パスポートとデジタルスタンプラリー、アート通信を連動し、より多くの層に美術館巡りを楽しんでいただける仕組み作りを行う。

パスポートイメージ



デジタルスタンプラリーイメージ



○手に取りやすいA5判

- ・パスポートサイズにすることで、携帯性を向上
- ・美術館の基本情報のみを載せることで継続した使用が可能
- ・スタンプ押印欄を作ることで御朱印帳のような楽しみ方もできるようにし、周遊性向上を目指す。

○デジタルスタンプラリー

- ・スマホで簡単に参加でき、QRコードとGPSでスタンプを押せるデジタルスタンプラリーを想定

5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

②せとうちアート通信

当社のSAPAをはじめ中部・近畿・四国・中国地方の道の駅及び観光施設、宿泊施設等に加え、美術館の所在する市町村の観光窓口へも配布先を広げており、今後さらに配布先を広範囲にすることによる広報エリアの拡大を目指して取り組むことにより、新たなターゲットへ訴求し、新たなファンの獲得を目指す。



5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

③アートセミナーの開催

瀬戸内地域のイベントや周年にあわせ、様々なテーマによる講演会を開催する。
2023年度は、瀬戸大橋35周年、明石海峡大橋25周年にちなみ、香川県及び兵庫県にて開催を予定



5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

④せとうちアートツアーの実施

せとうち美術館ネットワークのさらなる推進と各美術館への入館数増加を目的に「特別体験ツアー」についてヒアリングを実施、ヒアリング集約後一覧表にして、旅行会社へ企画提案、せとうち美術館ネットワークならではの商品造成に向けて検討を進めていく。
 (特別体験:館長自らご案内・全行程館長が同行・ミニレクチャー・普段見られない展示物の見学・開館前、閉館後の貸切見学等)

JB本四高速共同企画・せとうちアートツアー 林原美術館・谷一尚館長ご案内

国宝 姫路城とリニューアルした福山城・岡山城へ

瀬戸内4つの日本100名城と美術・**国宝** 刀剣堪能 3日間

30名様限定

グループ以外
バス相席なし

林原美術館
谷一尚館長が
ご案内
3日間同行します
(松山～姫路)



林原美術館
谷一尚館長

1952年生まれ。東京大学文学部考古学卒業、同大学院博士(文学)。共立女子大学大学院教授、岡山市立オリエント美術館長、日本学術会議東洋学委員、日本ガラス工芸学会会長を経て、林原美術館長、山陽学園大学教授・副学長。



林原美術館

日本100名城 今治城 福山城 岡山城 姫路城

コース番号 **03178-M51** 愛媛県・広島県・岡山県・兵庫県

同行 15名 1名 不可 **バス会社** 伊予鉄バス同等

出発日 **3月9日(木)** ※空港使用料(370円)が別途必要となります

1～2名1室
旅行代金(おひとり) **118,000円** **1名1室同旅行代金**



姫路城

瀬戸内必見の4つの日本100名城

日本屈指の海城 今治城 リニューアル 福山城

リニューアル 岡山城 世界遺産 姫路城

ふくやま美術館 特別展

「名刀 江雪左文字
—江雪斎、家康、頼宣が
愛した刀の物語—」

5口の国宝の刀が展示予定
※急な事情により一部展示品が
変更となる場合があります。

3日目 瀬菊酒造 元祖綿菓子
昼食 牛鍋コースの昼食



3日目昼食(イメージ)

- 羽田(9:30～10:15発)→松山=今治城(日本屈指の海城)=**しまなみ海道**／瀬戸内海に浮かぶ島々の絶景をお楽しみください)=**福山城**(2022年8月リニューアルオープン)=福山・福山ニューキャッスルホテル(泊) 日昼
- 福山=**ふくやま美術館**(**国宝**の刀剣も展示・特別展「名刀江雪左文字 —江雪斎、家康、頼宣が愛した刀の物語—」)=倉敷美観地区(自由昼食)=**岡山城**(2022年11月リニューアルオープン予定)…**林原美術館**(館長ご案内で常設展を見学)=姫路・ホテル日航姫路【A】(泊) 朝昼
- 姫路=**世界遺産 姫路城**(貴重な現存天守)…**好古園**(ウメの季節)=瀬菊酒造(鯛のかぶと煮も含む元祖綿菓子 牛鍋コースの昼食)=姫路—(新幹線)—新横浜—品川—東京(17:50～18:55着) 朝昼

※好古園のウメの見頃:例年2月下旬～3月中旬
※花の見頃は気象状況により前後する場合がございます。

【第2部】

せとうち観光の現状について

2023年2月3日

本州四国連絡高速道路株式会社



Bridge : Communication & Technology

 **本四高速**

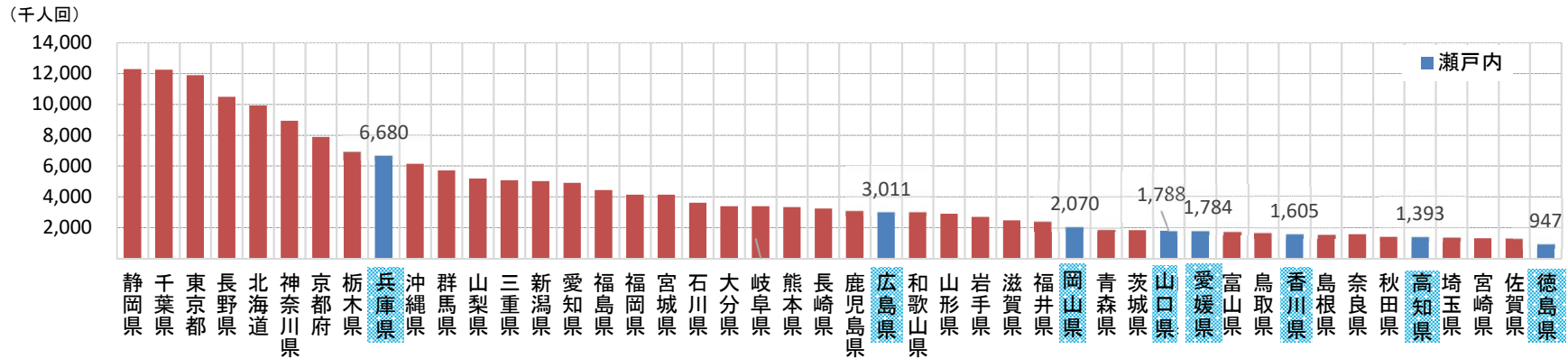
目次

1. 観光入込客数及びホテル・旅館数
2. 観光入込客数及びホテル・旅館数の分布
3. アクセス利便性(鉄道・自動車等)
4. 行催事・イベント・観光地点数
5. せとうちの主な観光施設の入込客数
6. 「せとうち」の認知度
7. インバウンドの傾向
8. せとうち観光の課題

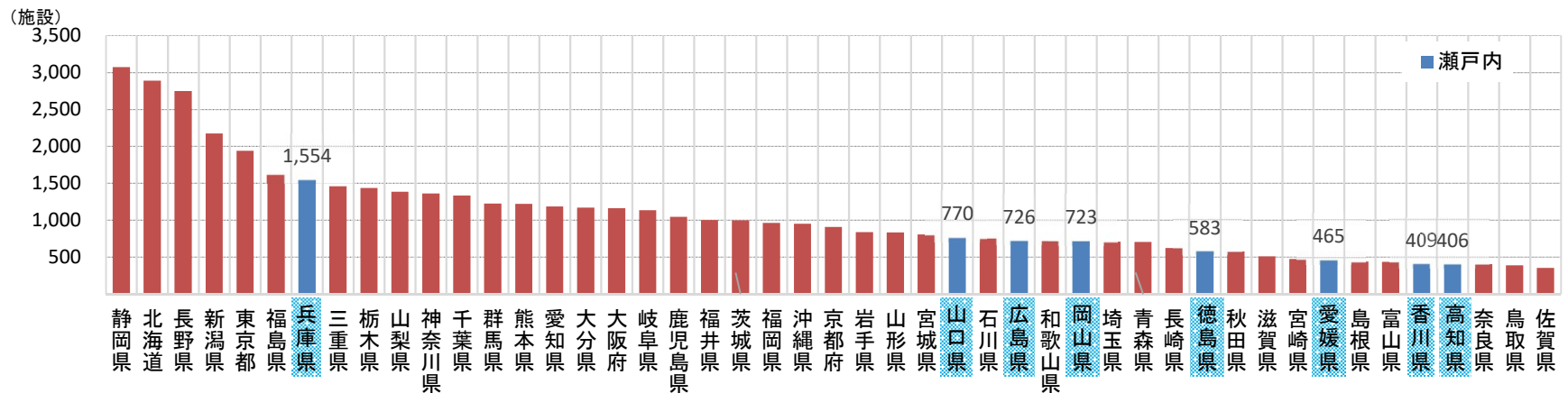
1. 観光入込客数及びホテル・旅館数

- せとうちエリアの観光入込客数は兵庫県を除き低調となっている。
- また、ホテル・旅館数においても同様の傾向となっている。

■観光入込客数_県内外計



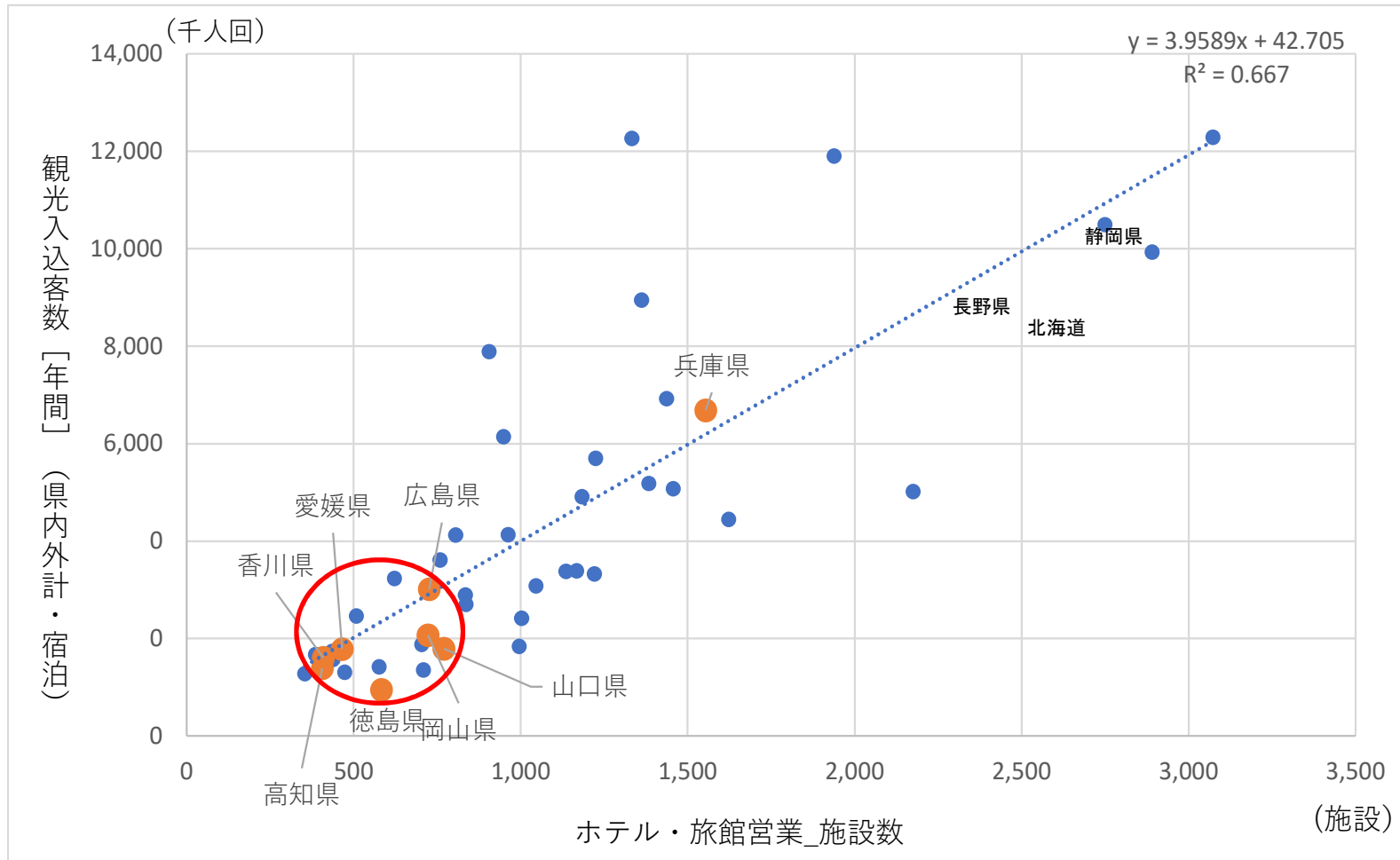
■ホテル・旅館数



(資料)
 ・観光入込客数_県内外:観光庁「共通基準による」観光入込客統計」より作成
 ・ホテル・旅館数:厚生労働省「平成28年度衛生行政報告例」より作成

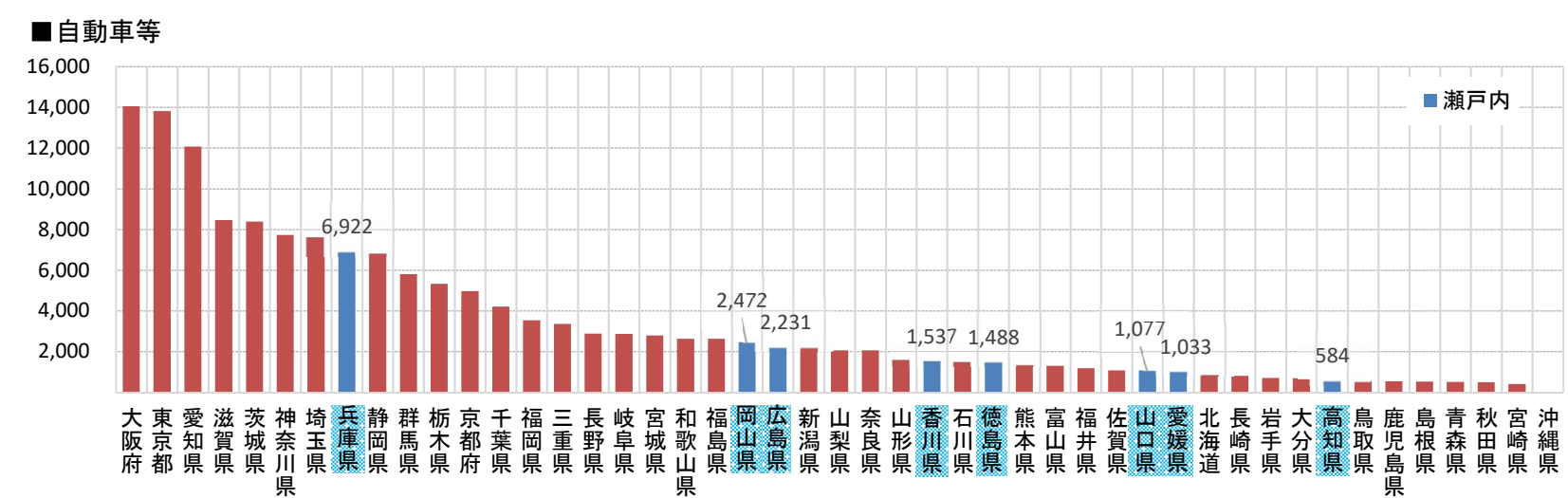
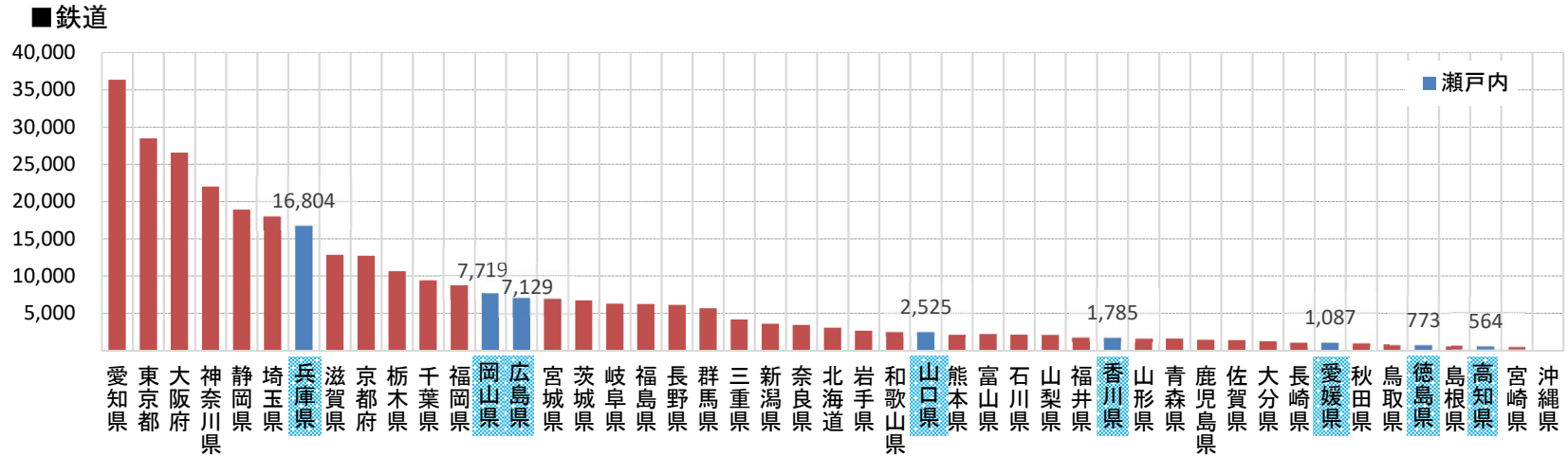
2. 観光入込客数及びホテル・旅館数の分布

- 観光入込客数とホテル・旅館数の分布は、兵庫県を除いて下位グループとなっている。



3. アクセス利便性(鉄道・自動車等)

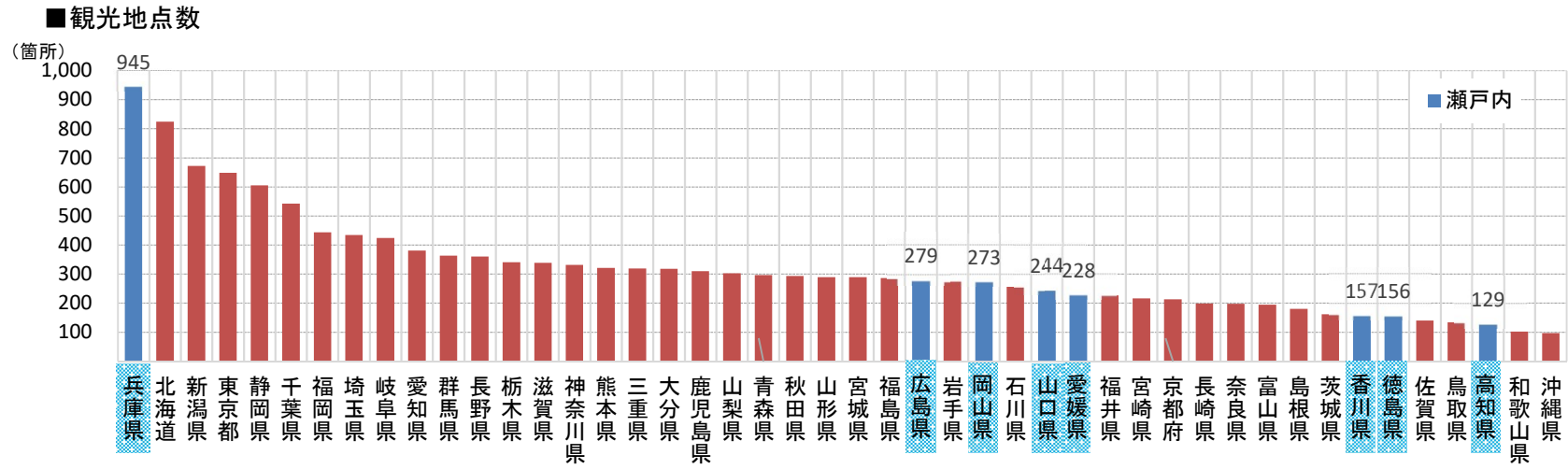
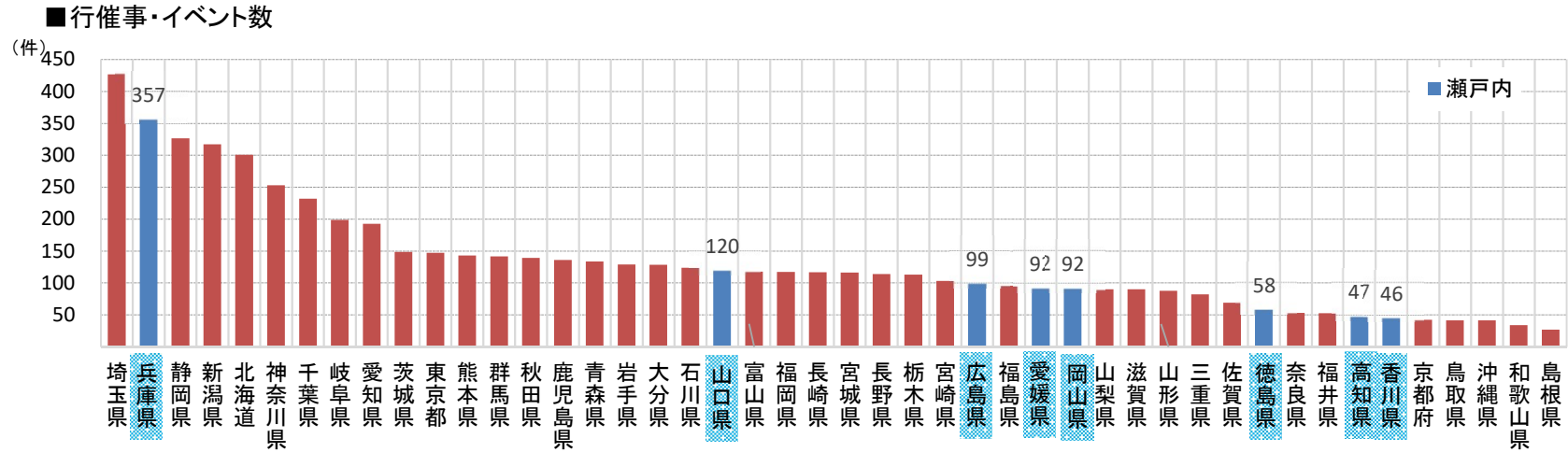
- せとうちにおける鉄道のアクセス利便性は、特に四国4県において低調となっている。
- 自動車等のアクセス利便性は、高速道路等の整備により四国4県においても一定程度保たれている。



(資料)観光庁「共通基準による観光入込客統計」、国土交通省「第6回(2015年)全国幹線旅客純流動調査 OD別交通サービス水準」より作成
 (注釈)各都道府県人口をPOPI、モード別の都道府県間時間をTijとして、i都道府県の利便性: $POPI = POPI \times \sum_j POPI_j / T_{ij}$

4. 行催事・イベント・観光地点数

- せとうちエリアの行催事・イベント数は兵庫県を除き低調となっている。
- また、観光地点数においても同様の傾向となっている。



(資料)観光庁「共通基準による観光入込客統計」より作成
 行催事:恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等。
 イベント:博覧会、見本市、コンベンション等。
 観光地点:観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点。日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。

5. せとうちの主な観光施設の入込客数

- せとうちの主な観光施設の入込客数は、多いところで100万人を超える入込客数となっている。
- 一方で、東京ディズニーリゾートでは約3,000万人、USJでは約1,500万人となっており、集客力に大きな差がある。



順位	施設名	入込客数
兵庫県		
1位	フルーツ・フラワーパーク	1,275千人
2位	北野工房のまち	1,213千人
3位	須磨海浜水族園	1,135千人
岡山県		
1位	後楽園	887千人
2位	おもちゃ王国	374千人
3位	岡山城	363千人
広島県		
1位	平和記念資料館	1,864千人
2位	呉市海事歴史科学館大和ミュージアム	978千人
3位	国営備北丘陵公園	524千人
徳島県		
1位	文化の森総合公園	967千人
2位	渦の道	548千人
3位	あすたむらんど徳島	448千人
香川県		
1位	ニューレオマワールド	990千人
2位	栗林公園	726千人
3位	さぬきこどもの国	641千人

順位	施設名	入込客数
愛媛県		
1位	松山城ロープウェイ・リフト(上・下)	1,243千人
2位	道後温泉旅館協同組合	731千人
3位	マイントピア別子	593千人
高知県		
1位	高知城	276千人
2位	桂浜駐車場	196千人
3位	県立のいち動物公園	191千人

(参考)

-	東京ディズニーリゾート(令和元年度、千葉県)	29,008千人
-	USJ(平成28年度、大阪府)	14,600千人
-	浅草寺(東京都)	30,000千人

※出典
 兵庫県：令和元年度兵庫県観光客動態調査報告書（兵庫県）
 岡山県：令和元年度岡山県観光客動態調査報告書（岡山県産業労働部観光課）
 広島県：平成31年度広島県観光客数の動向（一般社団法人広島県観光連盟）
 四国4県：令和1年度四国の主要観光地入込状況について（四国運輸局）
 東京ディズニーリゾート：(株)オリエンタルランドHP
 USJ：ユニバーサル・スタジオ・ジャパンHP（大阪市）
 浅草寺：東京ひとり旅ガイド

6. 「せとうち」の認知度

- 日本人全体の約8割が「せとうち」を認知している一方、約2割は全く知らないと回答している。

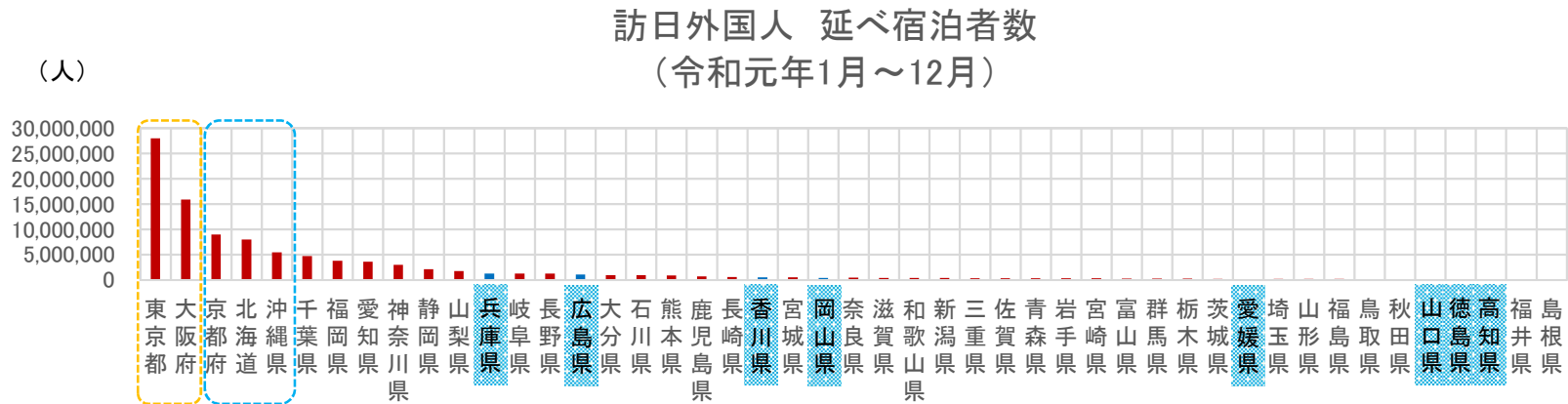
■【日本人】来訪者満足度(せとうち)(全体/単一回答)

あなたは今までに次の地域を訪れたことがありますか？該当するものを全て選んでください。(MA)

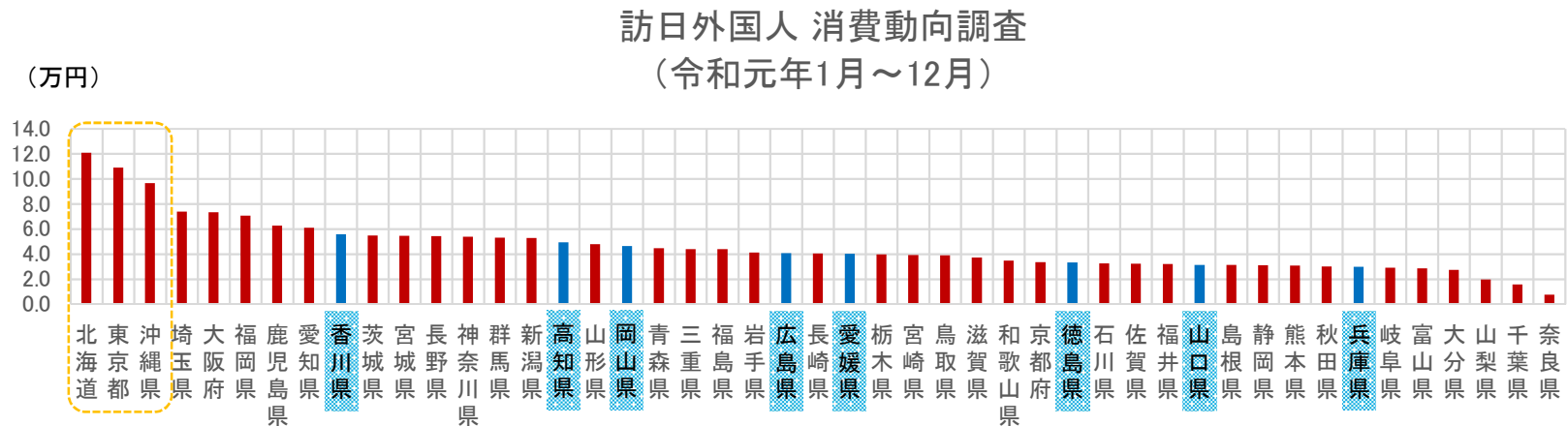
		認知あり (%)								来訪者ベース (%)
		来訪者		非来訪者			認知あり	来訪者	非来訪者	満足度
		せとうちに行ったことがあり、満足した	せとうちに行ったことがあるが、満足していない	せとうちに行ったことがないが、興味がある	せとうちに行ったことがなく、興味もない	せとうちについて全く知らない				
● 凡例										
日本人全体	(n=1332)	47.9	6.8	18.7	4.9	21.8	78.2	54.7	23.6	87.6
地域別	首都圏 (n=667)	34.2	7.0	26.8	5.8	26.1	73.9	41.2	32.7	82.9
	関西圏 (n=665)	61.7	6.5	10.5	3.9	17.4	82.6	68.1	14.4	90.5

7. インバウンドの傾向

- 主に東京都、大阪府といった大都市圏や、京都府、北海道、沖縄県等の観光地に宿泊する外国人が多い傾向となっている。
- 1人あたりの消費額は、北海道、東京都、沖縄県が特に多くなっている。



(出典)観光庁 宿泊旅行統計調査



(出典)観光庁 訪日外国人消費動向調査

8. せとうち観光の課題

① コアとなる観光施設がない

② せとうちエリアを統括する企業・団体が少ない

③ 情報発信力の不足

各県・各施設での情報発信にとどまっており、「せとうち」としての発信が少ない。



一つ一つは小さな力でも、
「せとうち」として連携することで、大きな力につながるのではないか

Memo
